

栃木県立博物館

年 報

平成28年度（第35号）

CONTENTS

I 事業の概要

1 調査研究	1
2 博物館資料の収集	6
3 館蔵資料の貸し付け	8
4 企画展	14
5 収蔵資料活用促進展示	15
6 テーマ展	15
7 市町連携事業	17
8 普及教育事業実施状況	28
9 平成28年度 栃木県立博物館 催し物一覧	47

II 諸統計

1 平成28年度入館者統計	49
2 アンケート調査による入館者の実態	55

III 予 算

1 平成28年度歳入状況	58
2 平成28年度歳出予算	59

IV 組織・事務分掌

1 平成28年度栃木県立博物館の組織図	60
2 栃木県立博物館協議会委員名簿	61
3 栃木県立博物館調査研究協力員名簿	61
4 栃木県立博物館ボランティア	63

V 利用案内

利用案内	64
------------	----

I 事業の概要（平成28年度）

1 調査研究

分野	職名・担当・氏名	調 査 研 究 内 容
歴 史	学芸部長 歴史（中世）担当 江田 郁夫	歴史（中世）担当として、各種のレファレンスに対応するとともに、担当部門の常設展示の充実に努めた。また、平成29年度に開催予定の開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏一頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族一」に関連して資料調査等を行った。 その他、講演会等では「古典・軍記でたどる宇都宮氏の歴史」「中世後期的那須地域」「皆川の中世史」「源頼朝の乳母、寒河尼」「中世下野の武士団と街道」「武勇のひと、長沼宗政の生涯」「中世芳賀氏の栄光と挫折」「戦国武将皆川広照のすべて」等の報告をした。 調査研究では、「織田信長の伝馬朱印状について」を執筆し、当館研究紀要第34号に掲載した。

ー人文系ー

分野	職名・担当・氏名	調 査 研 究 内 容
考	学芸部長補佐兼 人文課長 考古（原始）担当 森嶋 秀一	テーマ展「巡回展 栃木の遺跡」を担当した。 石器石材の調査を行った。今年度は荒川流域の第三紀層中に含まれる泥岩を探索した。 県内の遺跡等について、三次元レーザー計測を行った。その成果は研究紀要に発表した。 研究報告書「山王遺跡」において、遺跡の概要および周辺遺跡の紹介部分を担当した。
古	学芸嘱託員 考古担当 川又 隆一郎	展示では、テーマ展「巡回展 栃木の遺跡」および「古墳時代の始まるころー3・4世紀の人々の移動と交流ー」、地域移動博物館「縄文のくらし」（ふみの森もてぎ）を担当した。「古墳時代の始まるころ」の関連事業として展示解説と学芸員としておき講座「古墳時代が始まるころ」を担当した。 普及教育事業では下野市定期歴史講座（全6回）の第6回「栃木の弥生～古墳時代」や矢板市歴史講演会「矢板市の古代～堀越遺跡ってどんな遺跡？～」にて講演を行った。また、当館体験学習「気分は縄文時代のデザイナー」の作業補助を行った。 調査研究では、県内の遺跡等について三次元レーザー計測を行った。また下野市山王遺跡出土資料についての調査報告書を作成した。
歴 史	主任 歴史（中世）担当 山本 享史	歴史（中世）担当として、一般の方々や研究機関からの各種レファレンスに対応した。また、担当部門の常設展示の充実に努めた。 資料調査については、平成29年度に開催予定の開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏一頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族一」に関連して、東北や関西、関東各地で調査を行った。 その他、県教育委員会作成の補助教材「栃木からみる世界と日本」作成委員会の委員として、内容充実のための助言を行った。 調査研究では、「再論 八世紀における地方の銭貨の存在形態」を執筆し、当館研究紀要第34号に掲載した。

分野	職名・担当・氏名	調 査 研 究 内 容
歴 史	主任研究員 歴史（近世）担当 飯塚 真史	第114回企画展「宇都宮藩主戸田氏—その歴史と文芸—」を担当し、調査及び展示、図録の執筆、講座、展示解説を実施した。 普及教育事業としては、2016塩谷町まなびの講座～県立博物館移動講座～において「近世下野国の水運」、宇都宮大学地域連携教育研究センター・宇都宮城跡蓮池再生検討委員会共催事業において「近世下野の水運」、宇南アカデミーにおいて「名城宇都宮城—そのあらましと釣天井事件—」、宇都宮市中央図書館古文書講座において「古文書にみる宇都宮の宿場」などの講演を行った。 調査研究としては、開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏—頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族—」開催に向け、各地で資料調査を行った。
	主任研究員 歴史（近現代）担当 伊藤 康行	第116回企画展「NIKKO—国際観光都市・日光の成立—」を担当した。その開催にむけて、河鍋暁斎記念美術館などで資料調査を行った。会期中はオープニング講座や学芸員としておき講座「近代日光と外国人」、展示解説を実施した。また、企画展に関連して記念講演会や3館連携企画事業を担当した。近代日光に関する資料や戦時中の資料などの寄贈資料を受入れ、その調査と整理を行った。 小学校からの依頼を受け、6学年を対象に戦時中の暮らしについての出前授業を行い、博学連携の推進に努めた。
	学芸嘱託員 歴史担当 重藤 智彬	展示については第114回企画展「宇都宮藩主戸田氏—その歴史と文芸—」に関する各種調査展示及び図録執筆を行い、戸田氏の起源から宇都宮入封までの歴史を紹介した。 普及教育事業では、学芸員としておき講座にて「下野の戦国時代」と題し、下野国の戦国時代の概観について、那須氏を中心に紹介した。 調査研究としては、寄贈していただいた『下野国誌』関係資料を調査し、その成果を当館研究紀要第34号に「『下野国誌』関係資料」として執筆した。 その他、第116回企画展「NIKKO—国際観光都市・日光の成立—」などの各企画展・テーマ展の補助や各種歴史分野の調査、文化財セミナーの補助等を行った。
民 俗	特別研究員 民俗（有形）担当 篠崎 茂雄	テーマ展「栃木の平野の暮らし～畑作～」を担当した。本県の特産物である麻、麦、かんぴょうを中心に、本県平野部に暮らす人々の農業の様子や、その知恵や工夫について紹介した。このうち、麻に関しては当館が所有する国指定重要有形民俗文化財「野州麻の生産用具」を展示した。また、平成29年春に実施予定の第117回企画展「とちぎの山・鉾・屋台」に向けて、那須烏山市、鹿沼市等で調査、資料の借用交渉等を行った。 文化庁の補助事業を活用し、当館の多言語化を推進した。外国人を対象とした「手仕事体験講座」では、宇都宮短期大学附属高等学校、宇都宮大学国際学部と協働して事業を進め、外国人に対しては、本県の伝統工芸に対する理解を深め、また外国人に対応できるボランティアの育成を試みた。 普及教育活動では、社会福祉施設を対象とした「回想法セット」の貸出および「回想法セット」を使用した出前講座をおこなった。講演会等では、小山市、宇都宮市、壬生町、日本民具学会等で、漁撈習俗、郷土芸能、年中行事、民俗文化財等に関する内容の講座を実施した。ほかに、小山市からの依頼を受けて、国選択無形の民俗文化財「間々田のジャガマイタ」の調査を行った。

分野	職名・担当・氏名	調 査 研 究 内 容
	研究員 民俗（無形）担当 木村 真理子	テーマ展「栃木の平野の暮らし－畑作－」を副担当、「おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし」を主担当として実施した。「おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし」では、昭和初期から電化製品が家庭に登場する昭和40年代までの昔の生活を紹介した。 人文系講座「栃木の民話語り」を担当し、殿様が出てくる話をテーマとして実施した。 民俗資料の活用をはかるとともに、近年注目されている回想法について他館の導入事例を調査および研修に参加し、社会福祉施設への「回想法セット」の貸出および「回想法セット」を使用した出前講座をおこなった。 第117回企画展「とちぎの山・鉾・屋台」に向けて、那須烏山、鹿沼市等で資料調査をおこなった。
美 術	特別研究員 美術工芸担当 本田 諭	第114回企画展「宇都宮藩主戸田氏－その歴史と文芸－」を担当し、資料調査・図録執筆・展示解説等を行った。展示では、南蘋派画人として知られる戸田忠翰の作品を、多数の初公開作品を含め30点公開し、その画風展開を紹介した。また冬季テーマ展「宇都宮ゆかりの画人」を主担当、春季テーマ展「アニマル☆パラダイス－美術のなかの動物たち－」を副担当として実施した。「宇都宮ゆかりの画人」では資料調査・リーフレット執筆・展示解説等を行った。展示では、狩野梅春貞信の初公開作品など21点を展示し、これまであまり注目されなかった画人たちの活動に焦点を当てた。 普及事業では、県立佐野高校での出前授業などを行った。 調査研究としては、開館35周年記念特別企画展開催に向けた資料調査及び撮影を行った。また、県内各所で仏像・神像の調査を行い、平安・鎌倉期をはじめとする多数の彫刻を確認した。ほかに、『組織論－制作した人々』（『仏教美術論集』第六巻、竹林舎）に論文「七条大仏師音湛について－一新出作例から見た江戸初期における七条西仏所の一動向－」を執筆した。また、当館研究紀要34号に「鹿沼市板荷の「祥雲」銘如来形坐像について」を執筆した。ほかに、『日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代 造像銘記編 13』（中央公論美術出版）に「十一面観音菩薩像（道坂観音堂）」を執筆した。
工 芸	学芸嘱託員 美術工芸担当 深沢 麻亜沙	第114回企画展「宇都宮藩主戸田氏－その歴史と文芸－」およびテーマ展「宇都宮ゆかりの画人」を副担当、テーマ展「アニマル☆パラダイス－美術のなかの動物たち－」を主担当として実施した。「アニマル☆パラダイス」では会期中に関連講座および展示解説を行ったほか、関連イベント「鳥獣☆GIGA」でARを使った写真撮影や動くぬり絵を企画して普及事業に携わった。 調査研究としては、開館35周年記念特別企画展「中世宇都宮氏－頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族－」の開催に向けた事前調査および写真撮影の補助や、その他、県内の美術資料について調査を行った。また、平成28年度科学研究費補助金（基盤研究(A)）「仏像の表象機能に関わる総合的調査研究－空間・荘厳・胎内に着目して（課題番号16H01913）」（研究代表者：東北大学名誉教授有賀祥隆）に関わり栃木市・住林寺や茨城県桜川市・薬王院などでの調査に参加した。その他、当館研究紀要第34号に「鹿沼市医王寺蔵毘沙門天および吉祥天像の胎内納入品について（下）」を執筆した。

—自然系—

分野	職名・担当・氏名	調 査 研 究 内 容
地 学	主任研究員 岩石・鉱物担当 岡本 直人	県内各所の鉱山跡で調査や資料収集を行った。 地域移動博や出前授業、出前講座などを通して、鉱物が我々の生活にどのように利用されているかを紹介した。 レッドリスト改訂事業の一環として、県内の地質調査を行った。 テーマ展「あつまれ！自然好き」を担当し、自然に関する活動団体の取り組みを紹介した。
	主任 古生物担当 河野 重範	栃木県内外に分布する地層や化石の調査を行った。中禅寺湖と湯ノ湖の水環境調査（水質および底質）を行った。 那須烏山市産の海生哺乳類化石について、原石からの剖出とクリーニングを行った。また、未整理資料の標本化を推進した。県版レッドリスト改訂事業では、地形・地質に関する情報の収集・整理を行った。 普及教育では、さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－で開催展「恐竜ワールド～化石は語る～」を実施した。また、県内市町で観察会や出前講座等を行った。那須烏山市ジオパーク構想については専門的見地から助言を行った。
植 物	主任研究員 維管束植物担当 星 直斗	栃木県内に分布する維管束植物の資料収集、整理、調査研究を行った。 特に県版レッドリスト改訂事業に関連してオオウマノアシガタ、コウホネ類等の分布調査、標本調査を行った。さらに過去の県版レッドリスト（2005、2011）に用いた分布情報を含め、種ごとの生育状況について解析を行った。 この他に高原山においてイラモミ林、ミネカエデ類の分布調査を、平野部においてオオカワヂシャ、オオオナモミ等の外来植物の分布調査、標本調査を行った。 また、当館が収蔵するタイプ標本について調査を行い、5点を整理した。そのうちの1点であるオオミネザクラのタイプ標本を収蔵資料活用促進展示「収蔵庫は宝の山！」において展示し、収蔵標本の意義について紹介した。
	主任 維管束植物を除く 植物・菌類担当 坂井 広人	栃木県内の地衣類、真菌類、蘚苔類、藻類、変形菌類の資料収集を行った。 平成28年度は地衣類の調査を重点的に行った。 レッドリスト改訂事業では、地衣類、真菌類、蘚苔類、藻類、変形菌類の生息調査を行った。また、日光地域の自然学術総合調査の一環として、博物館ボランティアと共に日光地域の地衣類、真菌類の調査を行った。 テーマ展「キノコの不思議」を担当し、キノコの胞子の飛ばし方、キノコの成分の利用、キノコの栽培、県中央公園に発生するキノコなどを紹介した。 また、学芸員とおき講座「キノコの不思議」を行った。 収蔵庫活用促進展示「収蔵庫は宝の山」では地衣類、真菌類、藻類を担当し、展示を行った。
	学芸嘱託員 植物・菌類担当 三瓶 ゆりか	栃木県内に分布する維管束植物、藻類の資料収集を行った。県版レッドリスト改訂事業で維管束植物の野外調査、標本作製・整理を行った。過去の県版レッドリスト（2005、2011）で用いられた分布情報を含め、種ごとの生育状況についても整理を行った。観察会や講座などを通して、県内の藻類を調査した。 テーマ展「キノコの不思議」では副担当として展示を行った。

分野	職名・担当・氏名	調 査 研 究 内 容
動物	学芸部長補佐兼 自然課長 脊椎動物担当 林 光武	栃木県内の哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類の標本の収集・整理作業を行った。また、県版レッドリスト改訂事業に関連して、上記分類群の分布情報を収集・整理し、リストの改訂作業を部分的に担当した。 前年度に引き続き、宇都宮市においてトウキョウサンショウウオの保全対策の検証調査をグリーントラストうつのみやなどと共同で実施した他、高原山地の人工池で両生類の生息状況の長期的変動調査を行った。また、県内の水田地帯で国内外来種ヌマガエル分布拡大状況の調査を行った。さらに、日光地域の自然学術総合調査の一環として、博物館ボランティアと共に日光地域の両生類・爬虫類の分布・生活史調査を行い、得られた知見の一部を「ハコネサンショウウオ幼生の集団"滝登り"」として日本爬虫両棲類学会第55回大会で発表した。
	研究員 昆虫以外の 無脊椎動物担当 南谷 幸雄	栃木県内の昆虫以外の無脊椎動物の調査、資料収集を行った。県版レッドリスト改訂事業として、土壌動物やエビの分布情報の収集を行った。日光地域の自然学術総合調査として、陸生貝類・ミミズの分布調査を行った。日光のミミズ相について、研究紀要にまとめた。 収蔵資料活用促進展示「収蔵庫は宝の山」では昆虫以外の無脊椎動物を担当し、展示を行った。 現在、未整理の貝類、エビ類、八溝山系の土壌動物の標本整理を行っている。
	主任 昆虫担当 栗原 隆	第115回企画展「日光の昆虫」を担当し、多様な日光の昆虫を紹介するとともに、明治期に活躍したイギリス人のジョージ・ルイスについて紹介した。 収蔵庫活用促進展示「収蔵庫は宝の山」では昆虫を担当し、展示を行った。 栃木県内の昆虫類の調査、資料収集、整理を行った。 当館の収蔵資料については、日本産のゲンゴロウ科のデータベース化を進めた。また、新たに収蔵されたチョウのデータを追加した。 レッドリスト改訂事業では、水辺や河原に生息する昆虫を中心に調査を行った。また、日光地域の自然学術総合調査の一環として、旧日光市および旧今市市の範囲で昆虫類の分布調査を行った。
	学芸嘱託員 動物担当 小田桐 亮	栃木県内の昆虫類の調査、資料収集、整理を行った。特に狩りバチ類を中心とした、ハチの生息調査を行った。 第115回企画展「日光の昆虫」を担当し、主にハチ目と生態写真コーナーの展示を行った。 県版レッドリスト改訂事業では、昆虫の分布調査を行った。 日光地域の自然学術総合調査の一環として、日光地域での昆虫類の分布調査を行った。
	学芸嘱託員 地学・動物担当 浅羽 宏	栃木県内の哺乳類、鳥類の斃死体の収集を行い、骨格標本化の作業を行った。また、過去に収集され、冷凍保存されていた中大型哺乳類の死体についても、同様の処理を行った。特に脂肪の多い個体からの標本作製に関しては、脱脂の処理等の改善の試みを種々行った。 那須烏山市産の海生哺乳類化石について、原石からのクリーニング作業を行った。

2 博物館資料の収集

(1) 購入資料

－人文系－

美術工芸部門

番号	資 料 名	数量	制 作 年 代
1	狩野典信「関羽図」	1 幅	宝暦12年～安永9年（1762～80）
2	戸田忠翰「梅に小禽図」	1 幅	天明7年（1787）
3	高隆古「過眼録」	2 冊	江戸時代後期

－自然系－

地学部門

番号	資 料 名	数量	産 地	備 考
1	エドモントサウルス肋骨	1	アメリカ	実物
2	アロサウルス歯	1	北アメリカ	レプリカ
3	ティラノサウルス歯	1	アメリカ	レプリカ
4	ギガノトサウルス歯	1	アルゼンチン	レプリカ
5	タルボサウルス下顎	1	モンゴル	レプリカ
6	黄鉄鉱	1	アメリカ イリノイ州	

(2) 寄贈資料

－人文系－

歴史部門

番号	資 料 名	数量	寄 贈 者 名
1	田母澤御用邸当直日誌	3冊	原田順幸
2	田母澤御用邸諸控	3冊	原田順幸
3	山納家戦争関連資料	117点	山納悦子
4	近代日光関連洋書	4冊	株式会社エム保険グループ
5	近代日光関連資料	12点	藤田好三
6	横松榮一家資料（下野国誌関係資料）	247点	横松榮一
7	上野菊雄家資料（宇都宮宿本陣上野家資料）	49点	上野菊雄
8	天下谷ウメ家文書（根古屋神社関係資料）	19点	天下谷ウメ

－自然系－

動物部門

番号	資 料 名	数量	寄 贈 者 名	産 地	備 考
1	ニシキエビ剥製	1 点	シーメイト株式会社 代表取締役 木村牧夫		

(3) 標本及び複製品等作製（委託作製資料）

－自然系－

動物部門

番号	資 料 名	数量	備 考
1	動物剥製標本	5	オオタカ仮剥製2点、オオハクチョウ、アオサギ、ノスリ仮剥製各1点

(4) 採集資料

－自然系－

番号	資 料 名	数量	備 考
1	維管束植物	689	さく葉標本
2	蘚苔類	1	乾燥標本
3	藻類	51	乾燥標本
4	地衣類	903	さく葉標本
5	菌類	123	凍結乾燥標本
6	変形菌類	14	乾燥標本
7	哺乳類	35	骨格標本・毛皮標本
8	鳥類	60	仮剥製・骨格標本
9	爬虫類	6	液浸標本
10	両生類	129	液浸標本
11	魚類	35	液浸標本
12	昆虫類	720	乾燥標本
13	甲殻類	167	液浸標本
14	クモ類	2	液浸標本
15	貝類	198	乾燥標本・液浸標本
16	多足類	8	液浸標本
17	貧毛類	282	液浸標本
18	化石	5	恐竜化石
19	岩石・鉱物	7	県内外の岩石・鉱物

3 館蔵資料の貸し付け

ー人文系ー

番号	資 料 名	数量	貸し付け先	備 考
			貸し付け期間	
1	森戸果香筆「秀郷流末孫武将画像」のうち「小山泰朝」ほか 13点	14	小山市立博物館 H28.4.1～H28.6.15	企画展「戦国時代の小山」で展示
2	清水畑遺跡出土「アスファルト付着石鏃」	1	那珂川町なす風土記の丘資料館 H28.4.1～H29.3.31	常設展で展示
3	宇都宮市塚山古墳群出土遺物 ほか	36	下野市立しもつけ風土記の丘資料館 H28.4.1～H29.3.31	常設展で展示
4	那須国造碑（複製）	1	埼玉県立歴史と民俗の博物館 H28.6.20～H28.9.16	特別展「高麗郡1300年ー物と語りー」で展示
5	七廻り鏡塚古墳出土資料レプリカ ・「木装大刀」（復元） ・「黒漆弓」（復元） ほか	4	栃木市 H28.7.5～H28.9.30	「古墳時代の栃木市」で展示
6	梨木平遺跡出土遺物 後藤遺跡出土遺物	15	うつのみや遺跡の広場資料館 H28.7.20～H28.9.2	企画展「うつのみやの耳飾展」で展示
7	「游塩原漢詩文書画卷」	1	那須野が原博物館 H28.9.1～H28.12.2	特別展「塩原ストーリー」で展示
8	「日光東照宮祭礼図屏風」	2	埼玉県立歴史と民俗の博物館 H28.9.20～H28.12.18	特別展「徳川家康 語り継がれる天下人」で展示
9	皆川文書 ・「織田信長伝馬朱印状」 ・「徳川家康伝馬朱印状」 ほか	4	公益財団法人 馬事文化財団（馬の博物館） H28.10.5～H28.12.14	特別展「信長の馬・秀吉の馬」で展示
10	「大橋淡雅夫妻像」 宇都宮藩士 木村家所用甲冑 「異国人漂流記」 ほか	19	小山市立博物館 H28.9.7～H28.12.2	企画展「幕末維新期の点描 そのとき小山は」で展示
11	「日光名所図絵巻 上巻」 「日光山名勝図」 谷元旦筆「諸国名所図」のうち6点 ほか	10	川崎市市民ミュージアム H28.9.13～H28.12.9	企画展「旅する人びと～東海道五十三次から世界へ～」で展示
12	雪村周継筆「山水図屏風」 雪村周継筆「寒山拾得図」 雪村周継筆「寒山図」 ほか	13	東京藝術大学大学美術館 MIHO MUSEUM H29.2.15～H29.9.15	「特別展 雪村ー奇想の誕生ー」で展示
13	「双眼鏡「（武田久吉使用）」ケース付	1	株式会社日光自然博物館 H28.8.10～H28.9.15	旧英国大使館別荘で展示
14	「俵藤太秀郷物語絵巻」中・下巻	2	大田原市教育委員会 H28.9.6～H28.12.16	なす風土記の丘湯津上資料館 特別展「中世那須のあけぼのー那須神田城を考えるー」で展示
15	伊勢崎Ⅱ遺跡第Ⅱ文化層出土石器	8	岩宿博物館 H28.9.6～H29.1.13	企画展「ナイフ形石器ー発達期の石器群を追うー」で展示
16	何耕地遺跡出土 ・「打製石斧」 ・「磨製石斧」 ほか	7	那須歴史探訪館 H28.10.1～H29.9.30	常設展で展示
17	後藤遺跡出土「ミミズク土偶」 鶏塚古墳出土「鶏形埴輪（複製）」 射撃場内古墳出土「水鳥形埴輪（頭部のみ）」2点	4	那珂川町なす風土記の丘資料館 H28.11.26～H29.2.5	特別陳列えと展「西を考古学する」で展示
18	制光筆「瀟湘八景図」8幅対 狩野探幽筆「瀟湘八景図巻」	9	土浦市立博物館 H29.3.9～H29.5.19	特別展「土浦八景ーよみがえる情景へのまなざしー」で展示

※画像・映像データのみの貸し付け件数は計46件（年報への掲載は省略）。

－自然系－

番号	資 料 名	数量	貸し付け先	備 考
			貸し付け期間	
1	コティロリンクス、リストロサウルス、エリオプス	3	NHKプロモーション H27.6.1～H28.4.28	特別展「生命大躍進」で展示
2	ノトサウルス 他23点	24	佐野市葛生化石館 H27.6.9～H28.7.31	企画展「中生代という時代」で展示
3	始祖鳥、カウディプテリクス	2	佐野市葛生化石館 H27.7.30～H28.7.31	企画展「中生代という時代」で展示
4	関本平八関連資料のパネルおよび画像データ	69	株式会社日光自然博物館 H28.1.10～H28.5.15	企画展「関本平八展～植物研究の先駆者に続け～」で展示
5	バージェス動物群化石 他49点	60	群馬県立自然史博物館 H28.3.2～H28.5.31	企画展「よろいをまとった生きものたち」で展示
6	栃木県産サクラ類の生態写真、分布図等のパネル	59	下野市立しもつけ風土記の丘資料館 H28.3.15～H28.5.13	企画展「「桜」－身近な桜を知る－」で展示
7	バイエラ	1	数研出版 画像データとして貸出	「フォトサイエンス地学図録」に掲載
8	ウシガエル幼生及び幼体の透明標本画像データ	4	朝霞市博物館 H28.5.1～H28.8.31	夏季テーマ展「つくろう自然のコレクション2」におけるパネル展示
9	カミキリムシ科ヒメハナカミキリ属標本	36	窪木 幹夫 H28.5.10～H28.11.10	ヒメハナカミキリ図説作成のため
10	化石貸出セット	9	宇都宮商業高等学校 H28.5.18～H28.6.3	理科の授業で使用
11	カミキリムシ科コブヤハズカミキリ標本	6	高桑 正敏 H28.5.21～H28.11.20	コブヤハズカミキリ図説作成のため
12	バンビラプトル生体復元、モノクロニウス頭骨	2	岐阜県博物館 H28.6.1～H28.9.30	特別展「新・恐竜学～鳥になった恐竜の脳科学」で展示
13	アパトサウルス大腿骨 他2点	3	豊橋市自然史博物館 H28.6.1～H28.10.31	特別企画展「メガ恐竜展in豊橋」で展示
14	ティラノサウルス下顎レプリカなど化石標本4点	4	群馬県立自然史博物館 H28.6.8～H28.12.15	記念展「超肉食恐竜T. rex」で展示
15	オオカワデシャほか植物、昆虫、鳥類、魚類、甲殻類、淡水産貝類の標本14点、画像データ14点	28	宇都宮市自然環境課 H28.6.15～H28.7.8	宇都宮市南図書館の「うつのみやの自然パネル展」で展示
16	リンボクなど化石標本5点	5	佐野市葛生化石館 H28.7.5～H28.12.2	企画展「石と化石と宮沢賢治展」で展示
17	黄玉など鉱物標本21点	21	佐野市葛生化石館 H28.7.5～H28.12.2	企画展「石と化石と宮沢賢治展」で展示
18	ニホンマムシの全身骨格標本	1	朝霞市博物館 H28.7.7～H28.9.9	夏季テーマ展「つくろう自然のコレクション2」で展示
19	化石貸出セット、ハクビシン毛皮他	28	真岡市教育委員会 H28.7.20～H28.8.10	真岡市科学教育センター「夏休み特別公開」で展示
20	オオガネクジラ展示風景、化石密集層、ムカシチサラガイの各画像データ	3	那須烏山市教育委員会 画像データとして貸出	那須烏山ジオパーク構想のリーフレットに掲載
21	ハチ目アリバチ科標本	24	岡安 樹理也 H28.9.23～H29.3.23	アリバチ科の分類研究のため
22	化石貸出セット	9	宇都宮市立西原小学校 H28.10.4～H28.10.18	教材研究で使用

23	コウライイヌワラビ標本	1	那須塩原市 H28.10.28～H28.11.4	那須塩原市版レッドデータブックへの写真掲載のため
24	昆虫標本（モムラオオズナガゴミムシ、タケウチトゲアワフキ、アカエゾゼミなど）	37	那須塩原市 H28.10.28～H28.11.4	那須塩原市版レッドデータブックへの写真掲載のため
25	化石貸出セット	11	宇都宮市立西原小学校 H28.10.28～H28.12.6	理科の授業および研究授業で使用
26	栃木県産トルコ石の写真	1	株式会社ZIZO 画像データとして貸出	列車内広告「トレインチャンネル」で使用予定
27	吉田貝層産腕足動物化石	35	宇都宮大学 松居誠一郎 H28.11.17～H28.3.31	学術研究利用
28	化石貸出セットおよび観察用岩石標本セット	10	壬生町立羽生田小学校 H28.12.6～H28.12.22	理科の授業で使用
29	ネコヤマヒゴタイ標本	5	門田裕一 H28.12.18～H29.3.31	学術研究（トウヒレン属の分類）利用
30	スグリタケ標本 4点	4	近畿大学 澤畠拓夫 H28.12.19～H29.3.31	学術研究利用
31	動植物の画像データ（エイザンスミレ、サワラ、リングケンモンなど）	14	公益財団法人グリーントラスト うつのみや 画像データとして貸出	小学生向け総合ガイドブック「うつのみやにいる動植物」作成のため
32	ヤクシマヤダケ標本の画像データ	1	小林幹夫 画像データとして貸出	「原色植物分類図鑑日本のタケ亜科植物（北隆館）」に掲載
33	リストロサウルス全身骨格の画像データ	1	長尾衣里子 画像データとして貸出	「ルーツを追って—恐竜時代以前に天下をとった哺乳類の祖先たち」に掲載
34	ポリプチコセラス 他76点	77	ミュージアムパーク茨城県自然博物館 H29.1.10～H29.6.30	企画展「アンモナイト・ワールド」で展示
35	観察用岩石標本セット	10	上三川町立上三川中学校 H29.1.21～H29.1.25	理科の授業で使用
36	ヒミズ骨格標本	6	帯広畜産大学 鈴木あすみ H29.1.22～H29.3.31	機能形態学的研究に使用
37	化石貸出セット	10	上三川町立上三川中学校 H29.1.29～H29.2.4	理科の授業で使用
38	常設展示室1 展示風景の画像データ	1	小杉みのり 画像データとして貸出	「ヒサクニヒコ 世界恐竜絵地図」に掲載
39	プテラノドン前肢化石の画像データ	1	鳥取県立博物館 画像データとして貸出	博物館ニュースに掲載
40	栃木県産サクラ類の生態写真、分布図等のパネル	80	下野市立しもつけ風土記の丘資料館 H29.3.14～H29.5.12	企画展「「桜」—サクラもいろいろ—」で展示

－教育広報課－

番号	資 料 名	数量	貸し付け先	備 考
			貸し付け期間	
1	十二単一式	1点	宇都宮市立宮の原小学校 H28.6.5～H28.6.8	社会科授業のため
2	十二単一式	1点	宇都宮市立明保小学校 H28.6.9	社会科・総合的な学習の時間 授業のため
3	十二単一式・当世具足	各1点	壬生町立壬生北小学校 H28.6.10～H28.6.17	社会科授業のため
4	十二単一式・大鎧・当世具足・太刀・箆・火縄銃	各1点	日光市立大桑小学校 H28.6.14	社会科授業のため
5	十二単一式・大鎧・狩衣一式・束帯一式	各1点	日光市立大沢小学校 H28.6.17～H28.6.18	社会科授業のため
6	十二単一式・束帯一式・大鎧・当世具足・火縄銃	各1点	日光市立日光小学校 H28.6.18～H28.7.4	社会科授業のため
7	山水図長巻	1点	上三川町立明治南小学校 H28.6.18～H28.7.6	社会科授業のため
8	十二単一式・狩衣一式・古代官吏衣装一式・百人一首	各1点	宇都宮市立宝木小学校 H28.6.21～H28.7.3	会話科授業のため
9	十二単一式・当世具足・太刀・火縄銃・木簡・筆・転用硯	各1点 (木簡・筆・転用硯は生徒分用意)	栃木県立黒磯南高等学校 H28.7.7	留学生のための体験活動資料として使用
10	ツキノワグマ頭骨・ニホンカモシカ頭骨・ニホンザル頭骨	各1点	宇都宮市立姿川中学校 H28.7.12～H28.7.16	理科授業のため
11	ヘラクレスオオカブトのなかまなどの昆虫標本（11点）、動物の毛皮（9点）、化石標本セット・古生代の標本・新生代の標本・三葉虫標本・アンモナイト	各1点	真岡市教育委員会 科学教育センター H28.7.20～H28.8.10	夏休み特別公開展示資料として
12	身近に見られる昆虫などの昆虫標本（6点）・カブトムシ大型模型	各1点	宇都宮市立中央図書館 H28.8.9～H28.9.1	企画展展示のため
13	大鎧・弓・箆・当世具足・火縄銃・足輕鎧・刀・太刀	各1点 (太刀2点)	宇都宮市立明保小学校 H28.9.7	社会科授業のため
14	貫頭衣一式・古代官吏衣装一式・直垂一式・束帯一式・狩衣一式・十二単一式・水干一式・袴一式・大鎧・当世具足・足輕鎧・弓・箆・火縄銃・太刀・刀	各1点 (太刀・刀各2点)	宇都宮市立錦小学校 H28.9.8～H28.9.10	社会科授業のため
15	蓄音機・デルビル磁石式電話・高足膳・箱膳・火鉢・提灯・吊りランプ・おひつ入れ・テープレコーダー・黒電話・茶の間再現セット・石油ストーブ・保温ジャー・懐中電灯・電灯・アトラスオオカブトのなかまなどの昆虫標本（12点）・スズメバチ大型模型	各1点	宇都宮市立中央図書館 H28.9.21～H28.10.13	企画展展示のため
16	百人一首関連資料・十二単一式	各1点	宇都宮市立瑞穂台小学校 H28.9.29	クラブ活動のため
17	十二単一式・大鎧・箆・弓・当世具足・火縄銃・太刀	各1点 (太刀2点)	鹿沼市立上粕尾小学校 H28.10.9	文化祭への参加

18	十二単一式・狩衣一式	各1点	栃木市立三鴨小学校 H28.10.27	クラブ活動のため
19	始祖鳥化石・始祖鳥模型	各1点	大田原市立大田原中学校 H28.10.2～H28.11.5	理科授業のため
20	みーたん着ぐるみ一式	1点	山梨県立考古博物館 H28.10.29～H28.11.1	イベントのため
21	十二単一式・狩衣一式・当世具足・太刀・火縄銃	各1点	NPO法人もみの木 H28.11.2	着付け体験のため
22	十二単一式・狩衣一式	各1点	鹿沼市立清洲第二小学校 H28.11.3～H28.11.9	社会科・総合的な学習の時間授業のため
23	石臼・天秤棒・水桶・たらい・洗濯板・薬ぐつ・胴蓑・菅笠・蛇の目傘・提灯・吊りランプ・釜・電気炊飯器・黒電話・デルビル磁石式電話・火打石・火起こし器	各1点 (石臼2点)	益子町立益子小学校 H28.11.4	社会科授業のため
24	蓄音機・手回し洗濯機・閃亜鉛鋅	1点	宇都宮市立宝木小学校 H28.11.11～H28.11.18	社会科授業のため
25	石臼	1点	鹿沼市経済部産業振興課 H28.11.22～H28.11.29	イベントのため
26	おどる埴輪(男女)・馬型埴輪・深鉢型土器・浅鉢型土器・注口土器・縄文土器・ミミズク土偶レプリカ・勾玉・石器標本・鎌・石斧・触れる縄文土器	各1～3点	宇都宮市立中央図書館 H28.11.22～H28.12.24	企画展展示のため
27	蓄音機・レコード・テープレコーダー・石臼・薬研・天秤棒・水桶・手押しポンプ・吊りランプ・釜・電気炊飯器・デルビル磁石式電話・黒電話・蛇の目傘・菅笠・胴蓑・薬ぐつ	各1点	宇都宮市豊郷生涯学習センター H28.11.26	主催事業への参加
28	石臼・火起こし器・火打石・たらい・手押しポンプ・天秤棒・水桶・洗濯板・薬ぐつ・胴蓑・菅笠・吊りランプ・蓄音機・釜・デルビル磁石式電話・黒電話・糸車・もっこ	各1点 (石臼2点)	下野市立石橋小学校 H28.11.29	社会科授業のため
29	石臼・天秤棒・水桶・火起こし器・湯たんぽ・さおはかり・薬ぐつ・昔の遊び道具一式・薬研・吊りランプ・杓・背負梯子・手押しポンプ	各1点 (石臼2点・火起こし器5点)	宇都宮市立昭和小学校 H28.12.1	社会科授業のため
30	十二単一式・当世具足・太刀・火縄銃	各1点 (十二単2点)	日光市立南原小学校 H28.12.7	社会科授業のため
31	石臼・手押しポンプ・天秤棒・水桶・薬研・蓄音機	各1点 (石臼・薬研各2点)	宇都宮市立陽東小学校 H28.12.9	社会科授業のため
32	石臼・天秤棒・水桶・蓄音機・デルビル磁石式電話・手押しポンプ	各1点 (石臼2点)	宇都宮市立築瀬小学校 H28.12.15	社会科授業のため
33	十二単一式・束帯写真パネル・狩衣一式・大鎧・当世具足・火縄銃・弓・太刀・足輕鎧・古代官吏衣装一式・袴一式	各1点 (太刀・火縄銃各2点)	日光市立所野小学校 H28.12.16	社会科授業のため

34	火消し壺・高足膳一式・鬼おろし・洗濯板・湯たんぼ・あんか・たらい・火起こし器・石臼・天秤棒・水桶・さおはかり・箱枕・たんころ・糸車・藁ぐつ・草履・草鞋・提灯・吊りランプ	各1点 (石臼2台・火起こし器5台)	さくら市立氏家小学校	社会科授業のため
			H29.1.13	
35	石臼・湯たんぼ・豆炭あんか・藁ぐつ・胴蓑・菅笠・蛇の目傘・番傘・提灯・吊りランプ・釜・天秤棒・水桶・手押しポンプ	各1点 (石臼2点)	宇都宮市立瑞穂台小学校	社会科授業のため
			H29.1.18	
36	たらい・洗濯板・吊りランプ・お釜・そろばん・こて・さおはかり	各1点	真岡市立真岡西小学校	社会科授業のため
			H29.1.19～H29.1.26	
37	十二単一式・束帯一式・大鎧	各1点	日光市立今市第三小学校	社会科授業のため
			H29.1.22～H29.1.27	
38	石臼・天秤棒・水桶・藁ぐつ・胴蓑・菅笠・蛇の目傘・湯たんぼ・吊りランプ・糸車	各1点 (石臼2点)	宇都宮市立姿川第一小学校	社会科授業のため
			H29.1.27	
39	天秤棒・水桶・石臼・蓄音機・高足膳一式・洗濯板・たらい・提灯・吊りランプ・釜・蛇の目傘・手押しポンプ・薬研	各1点 (石臼2点)	鹿沼市立津田小学校	社会科授業のため
			H29.2.2	
40	火起こし器・火打石・天秤棒・水桶・手押しポンプ	各1点 (火起こし器5点・火打石3点)	宇都宮市立白沢小学校	社会科授業のため
			H29.2.3	
41	石臼・薬研・天秤棒・水桶・手押しポンプ・釜・火起こし器・藁ぐつ・胴蓑・菅笠・たらい・洗濯板・火打石	各1点 (石臼2点・火起こし器3点)	日光市立下原小学校	社会科授業のため
			H29.2.24	
42	弓・鎗矢・箆・源氏物語絵巻・山水図長巻・米俵・釜・電気炊飯器・ニホンカモシカ頭骨・キツネ頭骨・アンモナイト・マンモスの歯・カンラン石・砂漠のバラ・赤鉄鉱・石炭・ダイヤモンド	各1点	栃木県立栃木特別支援学校 ひばり分教室	社会科・国語科・理科・家庭科授業のため
			H29.3.16～H29.3.17	
43	みーたん画像	1点	株式会社エイジャ	出版物掲載のため
			H29.3.31	

4 企画展

第114回企画展

「宇都宮藩主 戸田氏 ―その歴史と文芸―」

平成28年4月29日(金・祝)～6月12日(日)

江戸時代、最も長期にわたって宇都宮を治め、また最後の藩主ともなった宇都宮藩主戸田氏の歴史をたどり、江戸時代後期に花開いた宇都宮藩の歴史と文化を概観した。

特に下野の戊辰戦争で用いられた「菊花紋官軍旗」や、宇都宮藩主ながら南蘋派の画人としても著名な戸田忠翰の作品など、初公開の資料を多く展示した。また、会期中に関連行事としてオープニング講座や記念講演会、展示解説、学芸員とおき講座を行った。

展示構成

第1章 戸田氏のはじまり

コラム 六星紋の入った御品

第2章 戸田氏の宇都宮入封

第1節 藩主の住まい

第2節 宇都宮入封

第3節 宇都宮再封

コラム 藩主と塩原

第3章 激動の幕末と戸田氏

第1節 宇都宮藩の危機

第2節 下野の戊辰戦争

第4章 南蘋派の画人・戸田忠翰の画業

コラム 沈南蘋と南蘋派

コラム 武家の文芸

主な展示資料

戸田忠次夫妻木像（個人蔵）

戸田忠真奉納太刀・拵付（宇都宮二荒山神社蔵）

戸田越前守忠恕公行列絵巻（個人蔵）

菊花紋官軍旗（宇都宮二荒山神社蔵）

白鸚鵡図 戸田忠翰（個人蔵）

鶉に瓶花図 戸田忠翰（個人蔵）

封侯図 沈銓（南蘋）（鹿沼・医王寺蔵）

（担当 人文課：本田諭・飯塚真史

・深沢麻亜沙・重藤智彬）

第115回企画展

「日光の昆虫」

平成28年7月16日(土)～9月19日(月)

日光は、広葉樹林、針葉樹林、湿原、草原、沢と環境の変化に富んでおり、それに応じてさまざ

まな昆虫が生息している。この企画展では、チョウやクワガタムシ、カミキリムシなど一般の方に人気がある昆虫はもちろん、シリアゲムシやガロアムシなどあまり知られていない昆虫も含めて紹介し、日光の昆虫の多様性とその背景にある自然環境の豊かさを伝える目的で開催した。

また、明治期初頭にイギリスの昆虫学者ジョージ・ルイスが日光を訪れて昆虫採集を行い、多くの新種を発見した。その成果が、日本の昆虫学の発展に大きな一歩となったことも紹介した。

展示構成

第1章 虫たちとの出会い

第2章 日光の昆虫

日光のトンボ目

日光のチョウ目

日光のバッタ目

日光のコウチュウ目

日光のハチ目

日光のハエ目

日光のカメムシ目

まだまだいるよ！日光の昆虫

第3章 いなくなる虫 増える虫

（担当 自然課：栗原隆・小田桐亮）

第116回企画展

「NIKKO ―国際観光都市・日光の成立―」

平成28年10月8日(土)～11月20日(日)

中禅寺湖畔の英国大使館別荘記念公園の公開を記念して、県立美術館・県総合文化センターとの3館連携企画事業として開催した。明治時代初期から戦前までの近代の日光に焦点をあて、近世の「聖地・日光」から「国際観光都市・NIKKO」へ発展していく過程を紹介した。325件の資料や100枚以上の写真パネルを展示して、近代日光の軌跡をたどった。また、会期中に関連行事として展示解説や記念講演会、学芸員とおき講座を行った。

展示構成

第1章 近代日光のプロローグ

第1節 近代日光のはじまり

第2節 天皇巡幸と保晃会

コラム1 日光の近代産業

第2章 観光地・日光への道のり

第1節 交通の近代化

第2節 宿泊業の繁栄

コラム2 近代日光と皇室

第3章 国際観光都市・NIKKOの成立

第1節 外国人の来晃

第2節 奥日光の賑わい

コラム3 明治35年、日光の悲劇

第4章 描かれた日光

第1節 日光土産とガイドブック

第2節 五百城文哉と小杉放菴

第3節 浮世絵から新版画へ

コラム4 日光堆朱

コラム5 郷愁の日光軌道線

主な展示資料

東照宮社務日誌（日光東照宮宝物館蔵）

日光電気軌道敷設請願書・定款（東武博物館蔵）

ヘボンやサトウなどの宿帳（金谷ホテル株式会社蔵）

中部・北部日本旅行案内（横浜開港資料館蔵）

伊国大使館別荘設計図（レーモンド設計事務所蔵）

日光神橋（川瀬巴水作）（渡邊木版美術画舗蔵）

H.ハンター使用のリール（個人蔵）

（担当 人文課：伊藤康行・飯塚真史）

5 収蔵資料活用促進展示

「収蔵庫は宝の山！ー初公開の化石・鉱物・動植物ー」

平成29年3月18日(土)～6月18日(日)

博物館の資料が、収蔵庫の中でどのように保管され、館の内外で何に活用されているのかを、自然系資料を通じて紹介した。

また、今回初展示の資料を中心にその価値と魅力を紹介し、世代を超えて資料を引き継ぐことの大切さを伝えることを目指した。

（担当 自然課：星直斗・林光武・岡本直人・栗原隆・坂井広人・河野重範・南谷幸雄・小田桐亮・浅羽宏・三瓶ゆりか）

6 テーマ展

（1）民俗部門

「栃木の平野の暮らし ー畑作ー」

平成28年7月16日(土)～9月4日(日)

本県の特産物である麻、麦、かんぴょうに焦点をあて、機械化される以前の農具や製品を通して、本県平野部に暮らす人々の農業の様子や、その知恵や工夫について紹介した。このうち、麻に関しては当館が所有する国指定重要有形民俗文化財「野州麻の生産用具」を展示した。また、本県産麻（野州麻）で作られた横綱白鵬関の横綱を借用し、本県と相撲界とのつながりを紹介した。

（担当 人文課：篠崎茂雄・木村真理子）

「おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし」

平成28年12月6日(火)～平成29年4月2日(日)

昭和20年代までの生活用具とおもちゃを中心に、大きく衣、食、住、遊びに分けて展示をした。特に小学校3・4年生が社会科で学習する内容を意識して、昭和30年代以降の生活用具展示もおこない、生活用具の変化がわかるように努めた。その一方で、近年おこなわれている高齢者向けの地域回想法としての展示も意識した。また、小学生3・4年生の学習理解の促進のために資料の体験コーナーを設けた。

加えて会期中の1～3月の毎週土曜日には栃木県民話の会連絡協議会の協力で民話語りも行った。

（担当 人文課：木村真理子・篠崎茂雄）

（2）考古部門

「巡回展 栃木の遺跡」

平成28年7月16日(土)～9月4日(日)

県内における発掘調査によって得られた様々な資料から、郷土の祖先の暮らしを振り返るとともに、調査成果をより多くの方々に理解していただくことを主旨として展示を行った。今年度は2部構成で実施した。

第1部は、資料は近年調査された遺跡あるいは報告書が刊行された遺跡の出土遺物からピックアップし、縄文器時代から中世にかかる計17遺跡の資料を出陳した。

第2部は、『栃木県史』に掲載されている当館所蔵の資料を展示した。こちらは旧石器時代から中世にかかる14遺跡の資料の出陳となった。

なお、関連行事として会期中に展示解説を行った。

(担当 人文課：森嶋秀一・川又隆一郎)

「古墳時代の始まるころ

ー3・4世紀の人々の移動と交流ー

平成29年1月7日(土)～4月12日(日)

遺跡から出土した資料を中心として、本県の3・4世紀(弥生時代後期～古墳時代前期)の人々の移動や交流をテーマとして展示を行った。主な展示資料として土器などを取り上げ、本県に特有の特徴をもった土器とともに他地域の土器を陳列し、他地域から人々の往来があったことが分かるように努めた。

また、展示の内容の理解促進のため、会期中に展示解説と学芸員とおき講座を行った。

(担当 人文課：川又隆一郎・森嶋秀一)

(3) 美術工芸部門

「宇都宮ゆかりの画人」

平成29年1月7日(土)～2月12日(日)

宇都宮にゆかりの深い画人たちの作品を、宇都宮市市制120周年を記念して特集展示した。本テーマ展では、宇都宮出身で室町時代を代表する画僧の一人である祥啓の作品をはじめ、江戸画壇で名を馳せた高久靄厓や椿椿山、更に深川水場狩野家の当主となった狩野梅春貞信(梅溪賢直)など、多様な画人の作品を展示することで、宇都宮の歴史と文化の豊かさが概観できるよう心掛けた。なお、今回展示した21点のうち、8点は初公開資料である。また、会期中に展示解説を行った。

(担当 人文課：本田諭・深沢麻亜沙)

「アニマル☆パラダイス

ー美術のなかの動物たちー

平成29年2月25日(土)～4月2日(日)

我々の生活のなかで身近な存在である動物が表現された絵画・彫刻作品を特集展示した。作品を鳥類・ほ乳類・魚類・昆虫類・両生類に分け標本と並べることで、自然科学的な見方も意識させつつ、美術史のなかでのモチーフの意味や解釈を提示し、多角的に美術作品を捉えられるよう心掛けた。また、会期中に展示解説および学芸員とおき講座を行ったほか、ARを使った写真撮影や動くぬり絵イベントを行った。

(担当 人文課：深沢麻亜沙・本田諭)

(4) 自然一般

「あつまれ！自然好き：ポスター発表」

平成29年2月4日(土)～3月5日(日)

「あつまれ！自然好き」は、展示室で行われるポスター発表と講堂で行われる口頭発表によって、栃木県内で自然観察や調査、自然環境の保全活動に取り組んでいる団体に、活動内容やその成果の発表の場を提供し、広く県民に自然を調べる楽しさや自然環境の大切さを知っていただくことを目的としている。口頭発表には10団体、ポスター発表には8団体が参加した。

(担当 自然課：岡本直人)

(5) 植物部門

「キノコの不思議」

平成28年10月1日(土)～平成29年1月22日(日)

身近なキノコから、普段、見るできない珍しいキノコまで、標本やレプリカ、写真を用いて紹介した。また、キノコの胞子の飛ばし方や環境中での役割、キノコの栄養の取り方、食材や薬としての人との関わりなどについても触れた。

展示をより知っていただくため、展示物に関する情報を深く学ぶことができるアプリケーション(キノコゲッチュ！)を作成して設置した。

(担当 自然課：坂井広人・三瓶ゆりか)

(6) 動物部門

「ミル・シル・オイシイ エビカニ展」

平成28年3月19日(土)～6月19日(日)

食材として古くから親しまれていたエビ、カニ、ヤドカリの体制や生態、食され方や味について紹介した。展示には、標本、写真、動画、各地の漁業協同組合などからいただいたポスターを使用した。展示をよく見ていただくため、展示物に関するクイズを出題するアプリケーションを作成して設置した。

また、現在県内に生息していると思われるエビ、カニの全種類を生体展示した。このほか、エビの養殖に関する自然環境問題にも触れた。

(担当 自然課：南谷幸雄・小田桐亮)

7 市町連携事業

(1) 学校移動博物館

当館では、小学校・中学校の教育課程と関連をもつ展示に努めており、校外学習及び遠足等で来館する学校が多い。栃木県内はもちろん東京や埼玉・茨城と関東各都県の学校の来館も数多く見られる。

学校を視野に入れた展示では、テーマ展「おじいさんやおばあさんが子どものころの暮らし」を毎年開催している。このテーマ展開催中は県内の3年生を中心に学校単位で博物館を訪れ、学校での学習のより充実・発展をめざしてこのテーマ展を見学している。

また、毎年県内の学校を対象に学校移動博物館を開催している。県内7教育事務所管内からそれぞれ1校、盲・聾・特別支援学校から1校の8校を推薦してもらい実施している。展示する資料は、教育課程との関連性の高いものを中心に考古・民俗・昆虫・化石・鉱石・哺乳類の各分野の約300点を展示している。

実施した学校の教員からは、博物館へ行く機会の少ない児童・生徒が多いなか博物館が学校に来てくれて、子どもたちに多くの資料を、実際に目にしたり触れたりできる機会を与えてくれるこの企画はありがたく、いつまでも続けてほしいとの声をいただいている。

① 期日

5月17日(火)～20日(金)

鹿沼市立みどりが丘小学校

5月31日(火)～6月3日(金)

上三川町立北小学校

6月7日(火)～10日(金)

栃木市立栃木第五小学校

7月5日(火)～8日(金)

茂木町立中川小学校

9月13日(火)～16日(金)

那須塩原市立黒磯小学校

10月18日(火)～21日(金)

佐野市立山形小学校

11月8日(火)～11日(金)

さくら市立南小学校

11月15日(火)～18日(金)

栃木県立盲学校

② 展示構成と資料

(ア) 展示

- ・考古コーナー「縄文・古墳時代の人たちが使った道具」(打製石器、矢じり、土器、埴輪、銅鐸等約30点)
- ・民俗コーナー「おじいさんやおばあさんがうまれたころに使われていた道具」(火鉢・鉄瓶・手押しポンプ等約40点)「お父さんやお母さんがうまれたころに使われていた道具」(電気炊飯器・白黒テレビ等約45点)
- ・昆虫コーナー「栃木県のカブトムシとクワガタムシ」「近くの雑木林に行ってみよう」等約35点
- ・化石コーナー アンモナイト、ナウマンゾウの歯、始祖鳥、オルニトレステス等約75点
- ・鉱石コーナー 自然銅、天青石、縞状鉄鉱等約25点
- ・哺乳類コーナー 剥製(カモシカ幼獣等)、毛皮(ツキノワグマ等)、頭骨(ニホンザル等)、ウサギ全身骨格 約15点

(イ) 体験学習

- ・石臼をひいてみよう

石臼を回し、大豆から黄粉を挽いてみる学習で、小学校3・4年生の学習内容に関連している。

- ・火を起こしてみよう

舞hiri式発火具を使って火を起こし、昔の人が火を起こすためにいかに苦労したかを体験する。

(ウ) 全体会

- ・全体会Ⅰ

化石と昆虫のふしぎ(小学校1～3年生対象)

化石とは何か、化石からわかることや展示資料を紹介したり、昆虫の体のつくりや本県の特徴的な昆虫を紹介する。

- ・全体会Ⅱ

見てみまshow!ー衣装の歴史ー(全学年対象)

古代官吏の衣装や宮廷の女房の装束、中世武士の鎧を試着してみて、当時の武士や貴族の気分を味わうとともに衣装や鎧の変遷を紹介する。

※全体会Ⅰを実施した場合は全体会Ⅱは、小学校4～6年生が対象になります。

(2) 地域移動博物館・共催展

①地域移動博物館

当館の収蔵資料を利用し、各市町の展示施設で行うテーマ展示である。

ー人文課ー

○縄文のくらし

会期：平成28年8月6日（土）～9月11日（日）

会場：ふみの森もてぎ

茂木町における縄文時代の遺跡紹介を中心に、県内出土の土器・石器・装身具類を展示し、縄文時代の生活を紹介した。なおこの展示は、茂木町の文化施設「ふみの森もてぎ」のオープン記念展示でもあった。

（担当 人文課：森嶋秀一・川又隆一郎）

ー自然課ー

○とちぎのカエルとサンショウウオ

会期：平成28年6月25日（土）～8月7日（日）

会場：芳賀町総合情報館

栃木県産のカエル類13種、イモリ・サンショウウオ類5種の形態や生態の特徴、栃木県内の分布状況などを紹介した。

また、カエルの鳴き声を聞くことができる装置を用い、カエル類の声の多様性も紹介した。さらに、骨と軟骨を染色した透明標本を展示し、カエル類とイモリ・サンショウウオ類の骨格や発生の特徴などを解説した。

（担当 自然課：林光武）

○私たちの生活と鉱物

会期：平成28年7月16日（土）～8月28日（日）

会場：佐野市郷土博物館

車・携帯電話・日用品など、私たちの生活で使っている物の中に使われている鉱物について、標本と製品を並べて紹介した。

鉱物が材料として利用されることを紹介すると共に、リサイクルや環境との共生などのテーマにも触れた。

（担当 自然課：岡本直人）

○2億4千万のハサミ

～エビとカニとヤドカリの世界～

会期：平成28年7月16日（土）～9月4日（日）

会場：市貝町立歴史民俗資料館

十脚類の分類や体制について、クイズを交えながら紹介した。また、栃木県内に生息する身近な種から外国産の珍しい種まで、多様な資料を展示

するとともに、十脚類の生息環境についても紹介した。

（担当 自然課：南谷幸雄）

○キノコの世界 ～みぢかでふしぎな妖精たち～

会期：平成28年7月23日（土）～9月4日（日）

会場：益子町中央公民館

栃木県産のキノコの実物標本やレプリカを中心に、「キノコって何?」「キノコはどこに生えているの?」「おいしいキノコ」「キノコの栽培」「毒キノコって何?」「キノコの名前いろいろ」「益子町のキノコ」について紹介した。

キノコの実物に触れるような展示も行い、キノコを身近に感じてもらえるように工夫した。

（担当 自然課：坂井広人・三瓶ゆりか）

○知ってる？ ふるさとの植物

～雑木林と水田まわりの植物～

会期：平成28年9月10日（土）～12月4日（日）

会場：大田原市ふれあいの丘 自然観察館

栃木県の平野部に広がる最も身近な自然の代表である雑木林や水田などに見られる維管束植物について、実物標本やパネルなどで紹介した。また、分布や発見などに関して大田原市とその周辺市町にゆかりのある維管束植物についてもあわせて紹介した。

（担当 自然課：星直斗・三瓶ゆりか）

ー教育広報課ー

○化石をさぐる

～アンモナイトに会いに来ナイト！～

会期：平成28年7月9日（土）～8月28日（日）

会場：高根沢町歴史民俗資料館

化石とは何か、どのように化石になるのか、化石から何がわかるのかなどを、約200点の化石資料を用いて学べるようにした。進化を示す化石や古生態を示す化石、現在よりも大きかった生きもの、栃木県にもいた生きもの、紛らわしい名前がついた生きもの、化石クイズなど複数のコーナーで構成した。

（担当 教育広報課：柏村勇二）

②共催展

各市町の展示施設が企画した展示に、当館の収蔵資料の提供と担当学芸員の学術協力を合わせたものである。

ー自然課ー

○関本平八展

～栃木県の植物研究の先駆者に続け～

会期：平成28年2月20日（土）～5月8日（日）

会場：株式会社日光自然博物館

関本平八（1889-1969）は、栃木県ではじめて本格的な維管束植物リスト「栃木県植物総覧」を作成した人物である。関本が普及・啓発活動に取り組んだ実績に焦点をあて、植物観察を切り口に自然環境の保全を考えていただく機会を提供することを目的とした展示である。展示の構成は、①関本平八の実績、②植物の観察方法、③植物観察からはじめる保全活動の3つであり、当館は①に関する展示資料を提供した。

（担当 自然課：星直斗）

○「桜」―身近な桜を知る―

会期：平成28年3月19日（土）～5月8日（日）

会場：下野市立しもつけ風土記の丘資料館

しもつけ風土記の丘資料館が所在する天平の丘公園には、約30種450本の桜があり、毎年「天平の花まつり」で賑わう。花見だけでなく、サクラの自然科学的な特徴についても理解を深めてもらい、花まつりの質を高めることを目的とした展示である。当館は栃木県の平野部を代表する数種の野生のサクラに関する生態写真、分布図、解説文の一部を提供した。

（担当 自然課：星直斗）

○ホネ博2016

会期：平成28年5月28日（土）～8月28日（日）

会場：那須塩原市那須野が原博物館

那須野が原博物館との共催展として、脊椎動物の様々な骨格標本を紹介すると共に、骨の発生や機能についても解説した。

（担当 自然課：林光武）

○うつのみやの自然パネル展

会期：平成28年6月16日（木）～6月30日（木）

会場：宇都宮市立南図書館

「うつのみや生きものつながりプラン」の基本方針に沿って、生物多様性の大切さを幅広い世代に伝え、理解を深め意識を醸成していただくことを目的とした展示である。当館は関連した動植物の標本、生態写真、解説文を提供した。

（担当 自然課：星直斗、林光武、栗原隆、南谷幸雄）

○恐竜ワールド～化石は語る～

会期：平成28年7月16日（土）～9月11日（日）

会場：さくら市ミュージアム―荒井寛方記念館―

さくら市ミュージアム―荒井寛方記念館―との

共催展として、多数の恐竜化石標本を展示すると共に、恐竜の系統や進化についても解説した。また、鬼怒川河川敷で発見されたクジラ化石の産状レプリカや鱗脚類といった地域の化石も展示した。

（担当 自然課：河野重範）

○「桜」―サクラもいろいろ―

会期：平成29年3月25日（土）～5月7日（日）

会場：下野市立しもつけ風土記の丘資料館

天平の丘公園で毎年、開催される「天平の花まつり」において、花見だけでなく、サクラの生態についても理解を深めてもらうことを意図した展示である。当館は栃木県を代表する数種の野生のサクラに関する生態写真、分布図、解説文の一部を提供した。

（担当 自然課：星直斗）

（3） 移動講座

―人文課―

○民俗文化財について

期日：7月22日（金）

会場：壬生町中央公民館

民俗文化財に対する理解を深めるために、国指定の重要有形民俗文化財「野州麻の生産用具」や同重要無形民俗文化財「烏山の山あげ行事」などを紹介した。また、壬生町にも将来に伝えるべき民俗文化財があることを説明した。（参加者：23名）

（担当 人文課：篠崎茂雄）

○近世下野国の水運について

期日：10月26日（水）

会場：塩谷町生涯学習センター

江戸時代、下野の河川で行われた水運がどのようなものであったか、鬼怒川事例を中心に資料画像などを用いてその実相を紹介した。（参加者：19名）

（担当 人文課：飯塚真史）

―自然課―

○骨が語る動物の進化

期日：5月28日（土）

会場：那須塩原市那須野が原博物館

骨の誕生、顎の誕生、水中から陸上へ、陸上か

ら空中へと、脊椎動物がたどった進化の過程を、骨に着目して解説した。また、特に「進化」という語の本来の学術的な意味について、日常的な会話で使われる時の意味と比較しながら詳しく説明した。(参加者：19名)

(担当 自然課：林光武)

○火山灰は宝石箱

期日：7月30日(土)

会場：那須町文化センター

火山灰に入っている鉱物を洗い出して観察し、火山灰と火山の噴火について解説した。

また、那須町の火山ハザードマップを配布し、災害に対する備えについて説明した。(参加者：30名)

(担当 自然課：岡本直人)

○カエルのふしぎ イモリのひみつ

期日：7月30日(土)

会場：芳賀町総合情報館

栃木県産のカエル類13種、イモリ・サンショウウオ類5種の形態や生態の特徴、栃木県内の分布状況などについてスライドを用いて解説した。

さらに、生きているカエルやイモリを観察し、その動きや匂い確かめた。(参加者：25名)

(担当 自然課：林光武)

○「恐竜ワールド」展示解説会

期日：7月31日(日)

会場：さくら市ミュージアム―荒井寛方記念館―

展示された恐竜標本について、その出現から絶滅まで動線にそって説明しながら、トピック的な標本の隠されたエピソードなども交えて解説した。(参加者：100名)

(担当 自然課：河野重範)

○化石のレプリカをつくろう！

期日：7月31日(日)、9月11日(日)

会場：さくら市ミュージアム―荒井寛方記念館―

化石とはどんなものなのか、どういうき方なのかを解説した後、アンモナイト化石のレプリカ作りを行った。海藻と同様の成分をもつ歯科用アルギン酸印象剤に水で溶いた歯科用超硬石膏を流し込みレプリカを作成した。好評のため、9月11日は追加開催として実施した。(参加者：31名、28名)

(担当 自然課：河野重範)

○カチカチ発電機をつくろう

～鉱物をヒントに生まれた発明～

期日：8月6日(土)

会場：佐野市郷土博物館

水晶など、圧力を加えることで電気を生み出すことができる鉱物が知られている。それらをヒントに生まれたピエゾ素子を使って簡単な発電機をつくり、その原理について学んだ。(参加者：18名)

(担当 自然課：岡本直人)

○エビ・カニ・ヤドカリの世界

期日：8月7日(日)

会場：市貝町立図書館企画研修室

エビ・カニ・ヤドカリの体のつくりや生態、栃木県産のエビ・カニについてスライドを用いて解説した。さらに、移動博物館の展示会場で、標本を見ながらエビ・カニ・ヤドカリの違いについて解説した。(参加者：28名)

(担当 自然課：南谷幸雄)

○栃木県内に見られるコウホネ類について

期日：8月11日(木・祝)

会場：那須烏山市烏山公民館

栃木県内に見られる3種類のコウホネ属植物(コウホネ、シモツケコウホネ、ナガレコウホネ)について、写真や図、実物標本などを用いて、その形態的な特徴や県内における最新の分布、保全について紹介した。(参加者：22名)

(担当 自然課：星直斗)

○栃木県の昆虫～その特徴と多様性～

期日：8月11日(木・祝)

会場：小山市立博物館

栃木県の昆虫は、タガメに代表されるように湿地性のものが豊富で、他県では絶滅に瀕している昆虫も多く残されている。また、日光山地は日本列島が成立後、一度も海に沈んでいないと考えられており、昆虫類の多様性が高い地域である。それらについて、生態写真を交えながら解説した。(参加者：27名)

(担当 自然課：栗原隆)

○しおやサマースクール「身近な虫を探そう！」

期日：8月27日(土)

会場：塩谷町大宮コミュニティセンター及び上平鬼怒川河川敷

鬼怒川河川敷でバッタやトンボを採集し、大宮公民館へ持ち帰った。持ち帰った昆虫はスケッチし、名前を調べた。最後に、観察できた昆虫のリストを作り、バッタやトンボについて解説した。(参加者：9名)

(担当 自然課：栗原隆・小田桐亮)

○那須烏山ジオパーク構想教室

「ジオパークの先例に学ぶ：天草ジオパーク」

期日：9月10日（土）

会場：那須烏山市烏山公民館

那須烏山ジオパーク構想への市民の理解を深めるために、天草ジオパークを一例として取り上げ、見どころだけでなく、ジオパークの運営体制やガイドの養成、拠点施設などについて解説した。(参加者：17名)

(担当 自然課：河野重範)

○宇都宮市サンショウウオ保全活動体験教室

宇都宮市の天然記念物に指定されているトウキョウサンショウウオを通して、身近な水辺環境について学び、希少種の保全活動を実地に体験する講座をグリーントラストうつのみやと共同で開催した。内容は以下のとおり。

①アメリカザリガニ捕り

期日：10月15日（土）

会場：宇都宮市戸祭山緑地

トウキョウサンショウウオの産卵場所に侵入し増加してしまった外来種アメリカザリガニの駆除作業を行った。(参加者：41名)

②サンショウウオ保全活動説明会

期日：12月10日（土）

会場：宇都宮市役所

宇都宮市戸祭山緑地に生息するトウキョウサンショウウオの生態について説明し、そこで行われている保全活動とその効果について解説した(参加者：35名)

③トウキョウサンショウウオ救出作戦

期日：3月18日（土）

会場：宇都宮市戸祭山緑地

宇都宮市戸祭山緑地で、コンクリート製U字溝に落ちてしまったトウキョウサンショウウオを拾い上げ、産卵場所の水路に移す作業を行った。あわせてアメリカザリガニの駆除作業とトウキョウサンショウウオの卵囊の観察を行った。(参加者：40名)

(担当 自然課：林光武)

○那須烏山ジオパーク構想教室・那須烏山の化石

期日：12月10日（土）

会場：那須烏山市烏山公民館

那須烏山市から産出した化石を中心に、那須烏山を特徴付ける地学的事象を紹介した。また、それらの学術的な価値も合わせて紹介した上で、那須烏山市で取り組んでいるジオパーク構想について概説した。(参加者：31名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

ー教育広報課ー

○何がでるかな…？わくわく化石教室

期日：5月21日（土）

会場：足利市生涯学習センター

足利市教育委員会主催の「オール足利学びの日・公民館講座体験Day」の講座のひとつとして実施した。地層や化石について概説したほか、木の葉石原石からの化石の取り出し体験、化石レプリカづくりを行った。(参加者：38名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石発掘隊～矢板編～

期日：7月23日（土）

会場：矢板市平野（野外）、矢板市郷土資料館

午前中は、地層の観察と化石採取を実施した。化石採取は転石からの採取とした。午後は、観察した地層を中心に栃木県の地質について概説した後、採取した化石のクリーニングと同定を行った。(参加者：53名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石発掘隊～入門編～

期日：7月30日（土）、7月31日（日）

会場：那珂川町吉田・那珂川河床（7月30日）

高根沢町歴史民俗資料館（7月31日）

第1日目は地層の観察と化石採取を実施した。化石採取は河床に露出しているもののみとした。第2日目は、第1日目に観察した地層を中心に栃木県の地質について概説した後、採取した化石のクリーニングと同定を行った。(参加者：第1日43名、第2日34名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石発掘隊～初級編～

期日：8月11日（木）

会場：那須塩原市金沢（野外）、那須野が原博物館

午前中は、地層の観察と化石採取を実施した。
化石採取は転石からの採取とした。午後は、観察
した地層を中心に栃木県の地質について概説した
後、採取した化石のクリーニングと同定を行った。
(参加者：36名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石発掘隊～中級編～

期日：8月13日(土)

会場：那須塩原市金沢(野外)、那須野が原博
物館

午前中は、地層の観察と化石採取を実施した。
化石採取は転石からの採取とした。午後は、観察
した地層を中心に栃木県の地質について概説した
後、採取した化石のクリーニングと同定を行った。
(参加者：32名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石三昧

期日：8月21日(日)

会場：高根沢町歴史民俗資料館

化石全般について概説した後、木の葉石原石か
らの化石取り出し体験と化石レプリカ作りを行っ
た。また、化石をさぐる～アンモナイトに会い来
ナイトの展示解説も行った。(参加者：92名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(4) 出前授業

小中高等学校等において主に児童・生徒を対象
とした講座である。

ー人文課ー

○台北故宮博物院の魅力

期日：10月4日(火)

対象：栃木県立佐野高等学校 2年生120名

(担当 人文課：本田諭)

○戦時中の暮らし

期日：12月20日(火)

対象：矢板市立片岡小学校 6年生50名

(担当 人文課：伊藤康行)

ー自然課ー

○上南摩植物図鑑を作ろう

5月27日(金) 鹿沼市立上南摩小学校 22名

7月26日(火) 鹿沼市立上南摩小学校 20名

(担当 自然課：星直斗・三瓶ゆりか)

○地層観察

9月23日(金) 栃木市立部屋小学校 21名

(担当 自然課：河野重範・浅羽宏)

○親子学習教室 身のまわりの植物で遊ぶ

10月19日(水) 学校法人さつき幼稚園(宇都宮
市) 21名

(担当 自然課：星直斗)

○校庭の樹木の観察

11月12日(土) 栃木県立宇都宮高等学校 25名

(担当 自然課：星直斗)

○身近な地衣類

2月24日(金) 栃木県立宇都宮東高等学校
19名

(担当 自然課：坂井広人)

ー教育広報課ー

①博物館体験プログラムの出前

館内で実施している体験的活動プログラムを学
校側の希望により館外(対象校)でも実施した。

「貴族のくらし」

(平安装束着付け体験)

6月 9日(木) 宇都宮市立明保小学校 100名

6月29日(水) 宇都宮市立宝木小学校 130名

10月27日(木) 栃木市立三鴨小学校 15名

(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)

「百人一首と平安装束」

(平安装束着付け体験)

9月29日(木) 宇都宮市立瑞穂台小学校 29名

(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)

「武士と鎧」

(鎧の着付け体験)

7月 1日(金) 日光市立日光小学校 43名

9月 7日(水) 宇都宮市立明保小学校 100名

(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)

「貴族のくらし」「武士と鎧」

(十二単・鎧着付け体験)

6月14日(火) 日光市立大桑小学校 35名

6月16日(木) 日光市立大沢小学校 54名

10月 9日(日) 鹿沼市立上粕尾小学校 75名

11月 2日(水)	NPO法人もみの木	20名	地層、化石についての講義のほか、原石からの化石取り出し体験を行った。
12月 7日(火)	日光市立南原小学校	77名	期日：11月 7日（月）
12月16日(金)	日光市立所野小学校	10名	対象：日光市立今市第三小学校6年生 116名
(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)			期日：11月14日（月）
「昔をしらべる」			対象：宇都宮市立岡本北小学校6年生 78名
(石臼・蓄音機・天秤棒体験)			期日：11月17日（木）
11月26日(土)	宇都宮市豊郷地区センター	60名	対象：宇都宮市立瑞穂台小学校6年生 76名
12月 9日(金)	宇都宮市立陽東小学校	91名	期日：11月18日（金）
12月15日(木)	宇都宮市立築瀬小学校	85名	対象：日光市立南原小学校6年生 78名
2月 2日(木)	鹿沼市立津田小学校	34名	期日：11月25日（金）
(石臼・天秤棒体験)			対象：宇都宮市立姿川第二小学校6年生 105名
1月18日(水)	宇都宮市立瑞穂台小学校	118名	期日：12月 1日（木）
1月27日(金)	宇都宮市立姿川第一小学校	147名	対象：宇都宮市立新田小学校6年生 96名
(石臼・天秤棒・火起こし体験)			期日：12月 2日（金）
11月 4日(金)	益子町立益子小学校	56名	対象：宇都宮市立岡本小学校6年生 51名
11月29日(火)	下野市立石橋小学校	89名	期日：12月 5日（月）
12月 1日(木)	宇都宮市立昭和小学校	63名	対象：宇都宮市立横川東小学校6年生 151名
1月13日(金)	さくら市立氏家小学校	130名	期日：12月 6日（火）
2月24日(金)	日光市立下原小学校	29名	対象：宇都宮市立上河内中央小学校6年生 42名
(天秤棒・火起こし体験)			期日：12月14日（水）
2月 3日(金)	宇都宮市立白沢小学校	56名	対象：鹿沼市立北小学校6年生 82名
(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)			期日：12月15日（木）
「勾玉づくり」			対象：宇都宮市立清原南小学校6年生 85名
12月 3日(土)	宇都宮市立豊郷北小学校	45名	(担当 教育広報課：柏村勇二)
(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)			
②博物館資料を活用した出前授業			
学校側の希望に沿うことができる場合、体験活動以外にも、貸出資料を活用した授業をコーディネートして出前授業を行った。			
6月19日(金)	栃木県立黒磯南高等学校	25名	「化石三昧」
留学生のための日本文化学習 (十二単・鎧着付け)			留守家庭学級の出前授業として実施した。化石についての講義のほか、化石レプリカの作成、原石からの化石取り出しを行った。
9月 8日(木)	宇都宮市立錦小学校	56名	期日：8月25日（木）
6年社会科歴史学習の復習			対象：まこと幼稚園 After School 夢の学舎 18名
11月13日(日)、15日(火)	栃木県立宇都宮高等学校通信制	44名	(担当 教育広報課：柏村勇二)
紙すき体験活動の指導			
(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)			
③校外学習の支援			
「大地のつくりとはたらき」			
小学校6年生理科の出前授業として実施した。			
「とちぎの木の葉石」			
小学校3年生の親子学習会として実施した。塩原湖成層と産出化石について概説した後、木の葉石原石から化石の取り出しを行った。			
期日：12月 3日（土）			
対象：宇都宮市立西が岡小学校3年生 110名			
(担当 教育広報課：柏村勇二)			
「流れる水のはたらき」			
小学校5年生理科の出前授業として実施した。上流や中流、下流での川の様子について、映像資料を用いて概説した後、校庭に作った山、川、海			

モデルに水を流しながら、流れる水のはたらきを観察した。

期日：10月21日

対象：宇都宮市立宝木小学校5年生 131名

期日：11月21日

対象：宇都宮市立清原南小学校5年生 74名

(担当 教育広報課：柏村勇二)

「化石を探る」

中学校1年生理科の出前授業として実施した。化石から何がわかるのかについて概説した後に、実際に化石を観察しながら、その化石に含まれる情報を読み取り、意見交換しながら仮説を練り上げた。

期日：1月26日（木）

対象：鹿沼市立板荷中学校 17名

(担当 教育広報課：柏村勇二)

「地層と化石、那須烏山ジオパーク構想」

中学校1年生理科の出前授業として、2クラスずつ2日に分けて実施した。地層や化石について、那須烏山市ジオパーク構想を随所に織り込みながら概説した。

期日：2月21日（火）

対象：那須烏山市立烏山中学校1年生 82名

期日：2月23日（木）

対象：那須烏山市立烏山中学校1年生 86名

(担当 教育広報課：柏村勇二)

「生命38億年の旅」

高等学校3年生生物の出前授業として実施した。化石資料を用いながら、生物の進化について概説した。

期日：7月13日（水）

対象：栃木県立栃木高等学校3年生 10名

(担当 教育広報課：柏村勇二)

「地層と化石」(地層の観察、火山灰や化石の採取)

小学校6年生理科の出前授業として実施

期日：11月11日（金）

対象：宇都宮市立岡本小学校6年生 51名

期日：11月29日（火）

対象：宇都宮市立清原南小学校6年生 85名

「木の葉石」(塩原湖成層の観察、化石取り出し体験)

期日：9月9日（金）

対象：大田原市立西原小学校3年生 144名

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(5) 出前講座

ー人文課ー

○回想法講座

期日：5月13日（金）

会場：介護論陣福祉施設 おりづる

期日：5月31日（火）

会場：グループホーム鶴の郷

博物館回想法セットを持参し、全体でオニオロシを紹介して郷土食シモツカレの話をした。その後、回想法セットに含まれる昔の道具の現物を手にとってもらう、または写真を見てもらい、それぞれの体験を思い出して語ってもらった。(参加者：46名、15名)

(担当 人文課：篠崎茂雄・木村真理子)

○栃木の弥生～古墳時代

期日：1月22日（日）

会場：下野市しもつけ風土記の丘資料館

下野市定期歴史講座（全6回）の第6回として、栃木県内で調査が行われた遺跡のなかでも弥生時代から古墳時代のものを取り上げ、その概要や現在の研究上の理解などについて解説した。(参加者：50名)

(担当 人文課：川又隆一郎)

○矢板市の古代～堀越遺跡ってどんな遺跡？～

期日：3月12日（日）

会場：矢板市生涯学習館

平成28年度矢板市歴史講演会として、矢板市に所在する堀越遺跡について、その概要と現在の研究上の評価などについて解説した。(参加者：59人)

(担当 人文課：川又隆一郎)

ー自然課ー

○秋の雑木林で"ひつつき虫"をさがそう！

期日：10月8日（土）

会場：大田原市ふれあいの丘自然観察館とその周辺

観察館において地域移動博物館で展示している動物散布型のタネ（通称：ひつつき虫）について概説した後、周辺の雑木林、休耕田などを歩きながら、身近なひつつき虫やその他のタネを観察し、

植物の種子散布の多様性について解説した。(参加者：11名)

(担当 自然課：星直斗・三瓶ゆりか)

○益子町文化財探検隊「西明寺を歩いて植生を学ぶ」

期日：10月10日(月)

会場：益子町高館山

益子町高館山を歩きながら、スダジイなどの常緑広葉樹林や暖温帯に特徴的な植物、山頂部に残るブナなどの冷温帯に特徴的な植物、雑木林の植物などの観察を通じて、益子町の植生について解説した。(参加者：16名)

(担当 自然課：星直斗・三瓶ゆりか)

○宇都宮北生涯学習センター 親子自然探検隊「土の中の生き物を観察しよう」

期日：10月29日(土)

会場：宇都宮市戸祭山緑地

ミミズやザトウムシ、カブトムシ幼虫など落ち葉の下や土の中の生き物を採集・観察することで、生き物のつながりについて解説した。(参加者：24名)

(担当 自然課：南谷幸雄)

○宇都宮市生物多様性研修「生物多様性を保全するって、どういうこと？」

期日：12月21日(水)

会場：宇都宮市役所

宇都宮市職員を対象に、生物多様性とは何か、なぜ守らなければならないのか、生物多様性への脅威は何か等について概説した後、宇都宮市の自然環境の特徴と生物多様保全のために注意すべき点、生物多様性保全の現場で直面する諸問題について具体的に紹介した。(参加者：52名)

(担当 自然課：林光武)

○「那須烏山ジオパーク構想ガイド養成講座」

那須烏山ジオパーク構想推進協議会と連携し、那須烏山の大地の魅力について、市民目線で解説できるガイドの養成講座を5回実施した。各回ともに、はじめに室内で講師からジオサイトの地質学的な解説を受け、その後市内のジオサイト候補地を巡った。

①期日：10月2日(日)

テーマ：小学生向け地層観察ガイド

(参加者：19名)

②期日：11月23日(水)

テーマ：滝駅周辺のコースガイド

(参加者：22名)

③期日：12月17日(土)

テーマ：大金駅周辺のコースガイド

(参加者：28名)

④期日：1月14日(土)

テーマ：小埴駅周辺のコースガイド

(参加者：28名)

⑤期日：2月5日(日)

テーマ：三箇〜下川井周辺のガイド

(参加者：25名)

(担当 教育広報課：柏村勇二、

自然課：林光武・河野重範)

○栃木県シルバー大学校「とちぎの大地と自然」

シルバー大学校の一講座として、栃木県の大地の成り立ちと、栃木県の自然について解説した。

①期日：12月8日(木)

会場：シルバー大学校南校(参加者：26名)

②期日：12月13日(火)

会場：シルバー大学校中央校(参加者：45名)

③期日：12月16日(金)

会場：シルバー大学校中央校(参加者：38名)

④期日：12月21日(水)

会場：シルバー大学校北校(参加者：21名)

(担当 自然課：坂井広人・河野重範・南谷幸雄)

○公民館および図書館等主催の講座への協力

①化石三昧

化石についての講義のほかに、化石レプリカ作成および原石からの化石取り出しを行った。

期日：5月21日(土)

会場：足利市生涯学習センター 38名

期日：7月28日(土)

会場：宇都宮市立南図書館 33名

期日：7月29日(日)

対象：栃木市サイエンススクール 38名

②化石からみた生物進化

生物の進化について、化石資料を用いながら概説した。

期日：5月16日(月)

対象：佐野ロータリークラブ 52名

③化石を探そう

木の葉石原石からの化石取り出しを行った。

期日：10月16日(日)

対象：宇都宮市青年会議所50周年記念事業「ふ

れあい夢パーク～さあ、未来への扉を開こう！
～」 256名

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(6) 「高原山自然探検隊」

科学技術振興機構支援「地域科学館連携支援事業」の継続活動であり、高原山の自然総合学術調査の成果の地元への還元という意味も持つ事業である。

○NPO法人星ふる学校くまの木との連携活動：

くまの木自然クラブ

4月23日(土) 田んぼの生きもの調べ 30名

(担当 自然課：林光武)

5月28日(土) 化石探し 43名

(担当 教育広報課：柏村勇二)

2月26日(日) 「あつまれ！自然好き」で発表

22名

(担当 自然課：岡本直人)

(7) 中高生の科学研究実践活動推進プログラム

文部科学省が推進し、学校・教育委員会と大学・博物館等の研究機関が連携・協働して実施する、中高生自らが課題を発見して科学的な手法に従って進める「科学研究実践活動」の取り組みである。

ー自然課ー

今年度は、環境保護・保全をテーマとするプログラム(取組機関・宇都宮北高校、共同取組機関・宇都宮高校、宇都宮中央女子高校及び馬頭高校)に協力し、宇都宮市のトウキョウサンショウウオ生息地をフィールドとする活動の指導を行った。
5月21日(土) 講義「宇都宮のトウキョウサンショウウオとその保全の取り組み」(県立博物館研修室) 及びトウキョウサンショウウオ生息地見学(宇都宮市戸祭山緑地)

10月22日(土)、11月5日(土)、3月18日(土)

フィールド実習(宇都宮市戸祭山緑地)

(担当 自然課：林光武)

ー教育広報課ー

採択2年目を迎えた那須烏山市立南那須中学校では、平成27年度に引き続き、市内の荒川流域の岩石調査を行った。転石中には、化石を含んだ泥岩が多く見られることから、化石を含む地層の観察を1年生理科の授業として実施した。

期日：11月4日(金)

那須烏山市立南那須中学校 86名

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(8) スーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH)

SSHは高等学校等において、先進的な理数教育の実施や創造性、独創性を高める指導方法、教材開発等の取り組みを支援する文部科学省の施策である。

ー教育広報課ー

今年度は、地学分野での野外観察法や採取試料の処理と活用のほか、ジオパーク構想の取り組みに関して、現地視察を実施した。

期日：10月22日(土)

対象：栃木県立足利高等学校1、2年生 42名

地層観察、剥ぎ取り作成、木の葉化石園見学、

化石採取(那須塩原市上塩原、金沢)

期日：10月30日(日)

対象：栃木県立足利高等学校1、2年生 42名

講義、化石クリーニング、同定、

期日：11月23日(水)

対象：埼玉県立不動岡高等学校1～3年生 33名

地層観察、化石採取(那須烏山市南大和久)、
龍門の滝および洞窟酒蔵の見学

期日：12月13日(火)

対象：栃木県立足利高等学校2年生 48名

化石からみた生物の進化についての講義

(担当 教育広報課：柏村勇二)

(9) 教員研修

ー教育広報課ー

①栃木県総合教育センターとの連携

栃木県総合教育センターと協力し、学校教職員向けに教職員研修への講師派遣や博物館利用案内等を実施した。

・講師派遣

期日：8月19日(金)

研修名：専門研修2「理科専門研修Ⅰ～地学分野の指導法～」 34名

(担当 教育広報課：柏村勇二)

・博物館利用案内の広報

期日：6月23日(木)

研修名：基本研修「教職2～5年目・養護2～5年目研修(高特)」

期日：7月22日(金)

研修名：基本研修「教職10年目研修(高特)地歴科・理科」

期日：8月17日（水）
研修名：基本研修「初任者・新規採用養護教諭
研修（小中）」
期日：9月12日（月）
研修名：基本研修「教職2～5年目研修（小中）」
期日：9月26日（月）
研修名：基本研修「教職10年目研修（小中）」
期日：12月15日（木）
研修名：基本研修「初任者研修（高特）」
（担当 教育広報課：沼尾孝之、馬籠和哉 ほか）

研修名：教員向け講座－地学編－ 18名
地学系出前授業案内
（担当 教育広報課：柏村勇二）
期日：8月5日（金）
研修名：教員向け講座－昔の道具編－ 4名
昔の道具を用いた授業案内
（担当 教育広報課：沼尾孝之）

②教科部会等との連携

小中学校の理科部会や理科同好会などと連携し、
講演や野外観察などを実施した。

期日：7月26日（火）
研修名：栃木県高等学校定時制通信制部会研修
会 78名
進化についての講義と授業で活用でき
る地学系体験学習の紹介
期日：7月29日（金）
研修名：教員研修－地学編－ 18名
地学系出前授業案内
期日：8月2日（火）
研修名：大田原市教員研修会 16名
地層観察、剥ぎ取り作成、地学教育講
義
期日：8月6日（土）
研修名：宇都宮市理科同好会 24名
地層観察、化石採取
期日：8月17日（水）
研修名：鹿沼市理科同好会 29名
地層観察、化石採取
期日：8月23日（火）
研修名：宇都宮市立岡本小学校・宇都宮市立清
原南小学校 5名
校外学習実施に向けての現地研修
（担当 教育広報課：柏村勇二）

③体験しまSHOW博物館！

教員を対象とした講座で、博物館資料の貸出や
出前授業実施を前提に、資料の取り扱い方や授業
での活用の仕方などについて学んでもらった。

期日：5月29日（日）
研修名：教員向け講座－衣装編－ 1名
歴史衣装を用いた授業案内
（担当 教育広報課：沼尾孝之）
期日：7月29日（金）

8 普及教育事業実施状況

(1) 企画展・テーマ展等

ア 企画展

回	名 称	期 間	会 場	入館者数(人)
114	宇都宮市市制120周年記念 宇都宮藩主 戸田氏－その歴史と文芸－	4月29日(金)～6月12日(日)	展示室 2	16,319
115	日光の昆虫	7月16日(土)～9月19日(月)	展示室 2	19,705
116	県立博物館・県立美術館・総合文化センター 3館連携企画 NIKKO －国際観光都市・日光の成立－	10月8日(土)～11月20日(日)	展示室 2	15,362
合 計				51,386

イ 収蔵資料活用促進展示

分 野	名 称	期 間
自然	自然全般 収蔵庫は宝の山！－初公開の化石・鉱物・動植物－	3月18日(土)～6月18日(日) ※

※平成29年度まで継続

ウ テーマ展

分 野	名 称	期 間
自然	菌類 キノコの不思議	10月1日(土)～1月22日(日)
	自然全般 あつまれ！自然好き：ポスター発表	2月4日(土)～3月5日(日)
人文	民俗 栃木の平野の暮らし－畑作－	7月16日(土)～9月4日(日)
	考古 巡回展 栃木の遺跡	7月16日(土)～9月4日(日)
	美工 宇都宮ゆかりの画人	1月7日(土)～2月21日(火)
	民俗 おじいさんやおばあさんの子供のころの暮らし	12月6日(月)～4月2日(日)※
	考古 古墳時代が始まるころ－3・4世紀の人々の移動と交流－	1月7日(土)～4月2日(日)※
	美工 アニマル☆パラダイス－美術のなかの動物たち－	2月25日(土)～4月2日(日)※

※平成29年度まで継続

(2) 講演会

ア 企画展記念講演会

演 題	期 日	会場	参加人数(人)	講 師
宇都宮藩主 戸田氏の歴史	5 月 8 日(日)	講堂	200	戸田氏連翹の会学芸員 戸田 正彦
宇都宮藩主 戸田忠翰が描いた世界	5 月22日(日)	講堂	138	早稲田大学文学学術院教授 成澤 勝嗣
日光の虫と自然	7 月16日(土)	講堂	191	東京大学名誉教授 養老 孟司
日光を愛したアーネスト・サトウ	10月30日(日)	講堂	141	日本女子大学教授 吉良 芳恵
合 計			670	

イ 収蔵資料活用促進展示講演会

演 題	期 日	会場	参加人数(人)	講 師
宝の山！博物館の収蔵庫	3月26日(日)	講堂	117	東京大学名誉教授 養老 孟司
合 計			117	

ウ 発表会

演 題	期 日	会場	参加人数(人)	講 師
あつまれ！自然好き	2月26日(日)	講堂	191	自然課主任研究員 岡本 直人
合 計			191	

(3) 講座

講 座 名	期 日	会 場	参加人数(人)	講 師
学芸員とおき講座 「鉄腕フォッシルハンター、化石を語る！」	4月17日(日)	研修室	27	自然課主任 河野 重範
オープニング講座 「宇都宮藩主 戸田氏」	4月29日(金)	講堂	151	人文課特別研究員 本田 諭 人文課主任研究員 飯塚 真史
学芸員とおき講座 「宇都宮藩主 戸田氏 –その歴史と文芸–」	5月15日(日)	講堂	108	人文課特別研究員 本田 諭 人文課主任研究員 飯塚 真史
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 衣装編	5月29日(日)	会議室	1	教育広報課係長 沼尾 孝之
田んぼの生きものミクロたんけん	6月4日(土)	研修室	3	自然課主任 坂井 広人
栃木の民話語り	6月11日(土)	講堂	83	人文課研究員 木村真理子
生物・地学収蔵庫ガイド	6月11日(土)	生物収蔵庫 地学収蔵庫	5	自然課主任研究員 星 直斗 自然課主任 栗原 隆 自然課主任 河野 重範
学芸員とおき講座 「〇〇鉱山に行ってきました」	6月19日(土)	研修室	15	自然課主任研究員 岡本 直人
学芸員とおき講座 「下野の戦国時代」	7月17日(日)	研修室	28	人文課学芸嘱託員 重藤 智彬
日光の自然と野外調査のポイント	7月18日(月)	スロープ	32	自然課主任研究員 星 直斗
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 理科地学分野編	7月29日(金)	研修室	18	教育広報課長 柏村 勇二
カチカチ発電機をつくろう！ ～鉱物をヒントに生まれた発明～	7月30日(土)	研修室	34	自然課主任研究員 岡本 直人
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 昔の道具編	8月5日(金)	研修室	4	教育広報課係長 沼尾 孝之
日光のカミキリムシとタマムシの深い話	8月6日(土)	研修室	18	自然課主任 栗原 隆
昆虫標本をつくってみよう	8月13日(土)	研修室	20	自然課主任 栗原 隆
学芸員とおき講座 「楽しい！ 苦しい？ 昆虫調査」	8月21日(日)	研修室	29	自然課主任 栗原 隆
土の中にはどんな虫が？	8月28日(日)	研修室	4	自然課研究員 南谷 幸雄
学芸員とおき講座 「毒のある植物」	9月18日(日)	エントランス	56	自然課主任研究員 星 直斗
オープニング講座 「NIKKO-国際観光都市・日光の成立-」	10月8日(土)	講堂	112	人文課主任研究員 伊藤 康行
学芸員とおき講座 「近代日光と外国人」	10月16日(日)	講堂	60	人文課主任研究員 伊藤 康行
生物・地学収蔵庫ガイド	11月3日(木)	生物収蔵庫 地学収蔵庫	25	自然課主任研究員 星 直斗 自然課主任 栗原 隆 自然課主任 河野 重範
火山灰は宝石箱	11月12日(土)	研修室	23	自然課主任研究員 岡本 直人
学芸員とおき講座 「キノコの不思議」	11月20日(日)	研修室	23	自然課主任 坂井 広人
歯医者さんが使う材料でつくる化石レプリカ	12月17日(土)	研修室	10	自然課主任 河野 重範
学芸員とおき講座 「むかしのくらし ～おじいさんやおばあさんの子どものころ～」	12月18日(日)	研修室	15	人文課研究員 木村真理子
学芸員とおき講座 「タイムマシン！ 130年前のカウソの標本」	1月15日(日)	研修室	33	自然課長 林 光武
学芸員とおき講座 「古墳時代が始まるころ」	2月19日(日)	研修室	28	人文課学芸嘱託員 川又隆一郎
発表会 あつまれ！ 自然好き	2月26日(日)	講堂	191	自然課主任研究員 岡本 直人
学芸員とおき講座 「美術の中の動物たち」	3月19日(日)	研修室	18	人文課学芸嘱託員 深沢麻亜沙
合 計			1,174	

(4) 見学会・観察会

講 座 名	期 日	会 場	参加人数(人)	講 師
春の植物を見つけよう	4月16日(日)	宇都宮市	14	自然課主任研究員 星 直斗 自然課学芸嘱託員 三瓶ゆりか
春の磯をのぞいてみよう	4月23日(日)	茨城県 ひたちなか市	40	自然課主任研究員 岡本 直人 自然課研究員 南谷 幸雄 自然課学芸嘱託員 小田桐 亮
夜の観察会 「カエルとサンショウウオの夕べ」	5月7日(土)	那須塩原市	18	自然課長 林 光武 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
木の葉の化石しらべ	5月14日(土)	那須塩原市	12	自然課主任 河野 重範
ナスヒオウギアヤメ鑑賞会	5月14日(土)	県中央公園	52	自然課主任研究員 星 直斗
モリアオガエル観察会	6月4日(土)	塩谷町	32	自然課長 林 光武 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
昆虫観察in日光	7月23日(土)	日光市	15	自然課主任 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 小田桐 亮
セミの羽化を見よう	7月30日(土)	県中央公園	27	自然課主任 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 小田桐 亮
泥だんごを作ろう ～遊んで学ぼう！土のひみつ～	8月27日(土)	真岡市	27	自然課主任研究員 岡本 直人
土と肥料の微妙な関係	9月10日(土)	真岡市	19	自然課主任研究員 岡本 直人
キノコの観察会in中央公園	10月1日(土)	博物館研修室・ 県中央公園	28	自然課主任 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 三瓶ゆりか
めざせ！ゴールドハンター☆ 砂金を探せ！	10月22日(土)	那珂川町	24	自然課主任研究員 岡本 直人
沼の生きものと水の環境を探る	11月5日(土)	宇都宮市	6	自然課主任 河野 重範
合 計			314	

(5) 展示解説等

講 座 名	期 日	会 場	参加人数(人)	講 師
宇都宮藩主 戸田氏 ーその歴史と文芸ー	5月1日(日)	展示室 2	44	人文課特別研究員 本田 諭 人文課主任研究員 飯塚 真史 人文課学芸嘱託員 重藤 智彬
	6月5日(日)	展示室 2	48	人文課特別研究員 本田 諭 人文課主任研究員 飯塚 真史 人文課学芸嘱託員 重藤 智彬
ミル・シル・オイシイ エビカニ展	5月21日(土)	展示室 2	24	自然課研究員 南谷 幸雄
巡回展 栃木の遺跡	7月23日(土)	展示室 2	9	人文課学芸嘱託員 川又隆一郎
日光の昆虫	7月24日(日)	展示室 2	14	自然課主任 栗原 隆
	8月14日(日)	展示室 2	22	自然課主任 栗原 隆
栃木の平野の暮らしー畑作ー	8月7日(日)	展示室 2	2	人文課特別研究員 篠崎 茂雄
NIKKOー国際観光都市・日光 の成立ー	11月12日(土)	展示室 2	35	人文課主任研究員 伊藤 康行
キノコの不思議	12月4日(日)	展示室 2	18	自然課主任 坂井 広人
宇都宮ゆかりの画人	1月22日(日)	展示室 2	15	人文課特別研究員 本田 諭
古墳時代の始まるころ	2月12日(日)	展示室 2	24	人文課学芸嘱託員 川又隆一郎
アニマル☆パラダイス	3月5日(日)	展示室 2	12	人文課学芸嘱託員 深沢麻亜沙
収蔵庫は宝の山！	3月20日(月)	展示室 2	12	自然課長 林 光武 自然課研究員 南谷 幸雄 自然課学芸嘱託員 小田桐 亮
おじいさんやおばあさんの民話 語り	1月7日(土)	展示室 2	25	人文課特別研究員 篠崎 茂雄 人文課研究員 木村真理子 栃木県民話の会連絡協議会参加 団体
	1月14日(土)	展示室 2	11	
	1月21日(土)	展示室 2	10	
	1月28日(土)	展示室 2	16	
	2月4日(土)	展示室 2	18	
	2月11日(土)	展示室 2	13	
	2月18日(土)	展示室 2	9	
	2月25日(土)	展示室 2	27	
	3月4日(土)	展示室 2	10	
	3月11日(土)	展示室 2	4	
	3月18日(土)	展示室 2	16	
	3月25日(土)	展示室 2	4	
合 計			442	

(6) 市町村連携事業

ア 学校移動博物館

学 校 名	期 間	参加人数(人)	講 師
鹿沼市立みどりが丘小学校	5月17日(火)～ 5月20日(金)	1,136	教育広報課職員 ・ 解説嘱託員
上三川町立北小学校	5月31日(火)～ 6月 3日(金)	351	
栃木市立栃木第五小学校	6月 7日(火)～ 6月10日(金)	1,097	
茂木町立中川小学校	7月 5日(火)～ 7月 8日(金)	273	
那須塩原市立黒磯小学校	9月13日(火)～ 9月14日(水)	578	
佐野市立山形小学校	10月18日(火)～10月21日(金)	183	
さくら市立南小学校	11月 8日(火)～11月11日(金)	875	
栃木県立盲学校	11月15日(火)～11月18日(金)	104	
合 計		4,597	

イ 地域移動博物館

名 称	期 間	会 場	参加人数(人)
とちぎのカエルとサンショウウオ	6月25日(土)～ 8月 7日(日)	芳賀町総合情報館	3,172
化石を探る ～アンモナイトに会いに来ナイト！～	7月 9日(土)～ 8月28日(日)	高根沢町 歴史民俗資料館	2,541
生活の中の鉱物	7月16日(土)～ 8月28日(日)	佐野市郷土博物館	3,185
2億4千万のハサミ ～エビとカニとヤドカリの世界～	7月16日(土)～ 9月 4日(日)	市貝町立歴史民俗 資料館	3,533
縄文のくらし	7月18日(土)～ 8月30日(日)	ふみの森もてぎ	2,502
キノコの世界 ～みちかでふしぎな妖精たち～	7月23日(土)～ 9月 4日(日)	益子町中央公民館	1,160
知ってる？ふるさとの植物 ～雑木林と水田のまわりの植物～	9月10日(土)～12月 4日(日)	大田原市ふれあいの 丘自然観察館	2,604
合 計			18,697

ウ 共催展

名 称	期 間	会 場	参加人数(人)
関本平八展 ～栃木県の植物研究の先駆者に続け～	2月20日(土)～ 5月 8日(日)	株式会社 日光自然博物館	2,103
「桜」－身近な桜を知る－	3月19日(土)～ 5月 8日(日)	下野市立しもつけ 風土記の丘資料館	9,814
ホネ博2016	5月28日(土)～ 8月28日(日)	那須塩原市 那須野が原博物館	14,696
うつのみやの自然パネル展	6月16日(木)～ 6月30日(木)	宇都宮市立南図書館	31,865
恐竜ワールド～化石は語る～	7月16日(土)～ 9月11日(日)	さくら市ミュージアム －荒井寛方記念館－	14,753
「桜」－サクラもいろいろ－	3月25日(土)～ 5月 7日(日)	下野市立しもつけ 風土記の丘資料館	11,742
合 計			84,973

※複数年度にまたがる展示については、開催期間全体の累計参加人数を掲載

エ 移動講座

名 称	期 日	会 場	参加人数(人)	講 師
何が出るかな…？ わくわく化石教室	5月21日(土)	足利市梁田公民館	38	教育広報課長 柏村 勇二
骨が語る動物の進化	5月28日(土)	那須塩原市那須野が原 博物館	19	自然課長 林 光武
民俗文化財について	7月22日(金)	壬生町中央公民館	28	人文課特別研究員 篠崎 茂雄
カエルのふしぎ イモリのひみつ	7月30日(土)	芳賀町総合情報館	25	自然課長 林 光武
火山灰は宝石箱	7月30日(土)	那須町文化センター	30	自然課主任研究員 岡本 直人
化石発掘隊	7月30日(土)	高根沢町歴史民俗資料館	43	教育広報課長 柏村 勇二
化石発掘隊	7月31日(土)	高根沢町歴史民俗資料館	34	教育広報課長 柏村 勇二
「恐竜ワールド」展示説明会	7月31日(土)	さくら市ミュージアム －荒井寛方記念館－	100	自然課主任 河野 重範
化石のレプリカを作ろう！	7月31日(土)	さくら市ミュージアム －荒井寛方記念館－	31	自然課主任 河野 重範
カチカチ発電機を作ろう～鉱物 をヒントに生まれた発明～	8月 6日(土)	佐野市郷土博物館	18	自然課主任研究員 岡本 直人
エビ・カニ・ヤドカリの世界	8月 7日(土)	市貝町歴史民俗資料館	28	自然課研究員 南谷 幸雄
栃木県内に見られるコウホ ネ類について	8月11日(木)	那須烏山市烏山公民館	22	自然課主任研究員 星 直斗
栃木県の昆虫 ～その特徴と多様性～	8月11日(木)	小山市立博物館	27	自然課主任 栗原 隆
化石ざんまい	8月21日(日)	高根沢町歴史民俗資料館	92	教育広報課長 柏村 勇二
昆虫の多様な世界	8月27日(土)	塩谷町大宮コミュニティ センター、上平鬼怒川 河川敷	9	自然課主任 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 小田桐 亮
那須烏山ジオパーク構想教 室「ジオパークの先例に学 ぶ：天草ジオパーク」	9月10日(土)	那須烏山市烏山公民館	17	自然課主任 河野 重範
化石のレプリカをつくろう！	9月11日(土)	さくら市ミュージアム －荒井寛方記念館－	28	自然課主任 河野 重範
宇都宮市サンショウウオ 保全活動体験教室 アメリカザリガニ捕り	10月15日(土)	宇都宮市 戸祭山緑地	41	自然課長 林 光武
近世下野国の水運について	10月26日(水)	塩谷町生涯学習センター	19	人文課主任研究員 飯塚 真史
那須烏山の化石	12月10日(土)	那須烏山市烏山公民館	31	教育広報課長 柏村 勇二
宇都宮市サンショウウオ 保全活動体験教室 サンショウウオ保全活動説 明会	12月10日(土)	宇都宮市役所	35	自然課長 林 光武
宇都宮市サンショウウオ 保全活動体験教室 トウキョウサンショウウオ 救出作戦	3月18日(土)	宇都宮市 戸祭山緑地	40	自然課長 林 光武
合 計			755	

(7) 共催・後援事業

名 称	期 日	会 場	参加人数(人)	主 催 者
第42回栃木県オリентセミナー 共催	5月 7日(土)	講堂	34	栃木県オリент協会
	5月21日(土)	講堂	34	
第7回とちぎの生活文化講座 共催	5月12日(木)	講堂	58	栃木県生活文化協会
	5月19日(木)	講堂	50	
	6月 2日(木)	講堂	54	
	6月 9日(木)	講堂	54	
	6月16日(木)	講堂	46	
	4月 3日(日)	研修室	20	
	5月 1日(日)	研修室	21	
	6月 5日(日)	研修室	12	
	7月10日(日)	会議室	16	
	8月 7日(日)	研修室	23	
	9月 4日(日)	研修室	18	
下野民話の会例会 共催	10月 2日(日)	研修室	15	下野民話の会
	11月 6日(日)	研修室	16	
	12月 4日(日)	研修室	14	
	2月 5日(日)	研修室	35	
	3月 5日(日)	研修室	35	
下野民話のつどい 共催	9月10日(土)	講堂	200	下野民話の会
宇都宮・河内地区中教研道德教育部会後 期研修会 共催	8月 3日(水)	講堂	90	宇・河地区中教研道德部会
栃木県民話の会連絡協議会総会・研修会 共催	5月27日(金)	講堂	103	栃木県民話の会連絡協議会
栃木県民話の会連絡協議会全体研修会 共催	1月25日(水)	講堂	148	栃木県民話の会連絡協議会
栃木県高等学校教育研究会図書館部会総 会 共催	5月18日(水)	講堂	120	栃木県高等学校教育研究会 図書館部会
第36回栃木県高等学校国際理解英語弁論 大会 共催	9月13日(土)	講堂	50	栃木県高等学校国際教育研 究協議会
「2016年度オリент広場 ～みんなで歴史にせまる」共催	7月 9日(土)	研修室	15	栃木県オリент協会
	9月 3日(土)	研修室	15	
	11月12日(土)	研修室	13	
	2月 4日(土)	研修室	15	
下野民俗研究会記念講演会・研究発表会	5月28日(土)	講堂	43	下野民俗研究会
教養講座 共催	7月 9日(土)	講堂	55	栃木県退職公務員連盟 宇都宮支部
	9月 3日(土)	講堂	60	
	11月12日(土)	講堂	55	
記念講演「宇都宮藩戸田氏の経済事情」・ 文化財巡り 共催	5月28日(土)	講堂・他	36	宇都宮市教育委員会
宇都宮藩戸田氏の歴史と文芸の学習 共催	5月28日(土)	研修室	29	戸田氏連翹の会
栃木県高等学校教育研究会生徒指導部会 総会 後援	6月17日(金)	講堂	100	栃木県高等学校教育研究会 生徒指導部会
地域における生涯学習及びお楽しみ交流 会 後援	9月11日(日)	講堂	91	鶴田東原東部自治会
栃木県高等学校教育研究会英語部会総会 及び講演会 後援	6月 7日(火)	講堂	70	栃木県高等学校教育研究会 英語部会
宇・河地区退職校長会講演会 後援	10月28日(金)	研修室	47	宇・河地区退職校長会
子どもたちの木工工作コンクール 共催	9月20日(火) ～10月4日(火)	博物館エント ランスホール	2,712	栃木の森の元気な森づくり 県民会議
第60回日本学生科学賞栃木県展覧会 共催	10月 5日(水) ～24日(月)	栃木県総合教 育センター	1,557	栃木県教育委員会

栃木県高等学校教育研究会定通部会研修会 後援	7月26日(火)	講堂	75	栃木県高等学校教育研究会定通部会
第53回栃木県高等学校国際理解英語弁論大会 後援	10月18日(火)	講堂	58	栃木県高等学校国際理解教育弁論大会
栃木県歴史文化研究会創立25周年記念大会 共催	8月27日(土)	講堂	95	栃木県歴史文化研究会
平成28年度栃木県考古学会大会 後援	9月 4日(日)	講堂	60	栃木県考古学会
栃木県高等学校文化連盟研究発表大会 後援	11月11日(金)	講堂・研修室	26	栃木県高等学校文化連盟
栃木県高等学校教育研究会地歴・公民部会研究大会・講演会 後援	11月11日(金)	講堂・研修会	40	栃木県高等学校教育研究会地歴公民部会
栃木県高等学校教育研究会理科部会教員研修会 後援	10月12日(水)	講堂・研修室	60	栃木県高等学校教育研究会理科部会
栃木県地学愛好会標本展示会 後援	11月 3日(木)	研修室・会議室	425	栃木地学愛好会
昆虫談話会 後援	11月 6日(月)	講堂	18	とちぎ昆虫愛好会
栃木県高等学校教育研究会図書館部会中央研修会 後援	1月27日(金)	講堂	80	栃木県高等学校教育研究会図書館部会
合 計			7,116	

(8) 映画会

担当 教育広報課職員

月	題 名	期 日	小計(人)	月合計(人)
4	【アニメ】世界名作劇場 フランダースの犬	16日(土)	17	17
5	【アニメ】日本の童話 「桃太郎」「かさ地蔵」ほか	4日(水)	48	115
	【アニメ】世界の童話 「シンデレラ」「人魚姫」ほか 【アニメ】グリム名作劇場 「ブレーメンの音楽隊」	5日(木)	33	
	【アニメ】世界名作劇場「トムソーヤの冒険」	14日(土)	34	
6	宇都宮伝統文化 「二荒山神社の神楽・菊水祭・堀米の田楽祭」	12日(日)	15	22
	名作劇場「カサブランカ」	18日(土)	7	
7	【アニメ】世界名作劇場「南の虹のルーシー」	18日(月)	17	17
8	【アニメ】ミッキーマウスシリーズ「ミッキーのお化け退治」	6日(土)	20	40
	【アニメ】日本の名作童話「つるの恩返し」「一休さん」ほか	20日(土)	20	
9	【アニメ】世界名作劇場「母をたずねて三千里」	17日(土)	17	24
	名画鑑賞「海女のリャンさん」	19日(月)	7	
10	【アニメ】楽しいムーミン一家「魔法の帽子」 【アニメ】ドナルドダック「ドナルドの駅長さん」ほか	15日(土)	7	7
11	名画鑑賞「東京物語」	3日(木)	30	45
	ふるさと再生日本の昔話「因幡の白兔」ほか	19日(土)	15	
12	【アニメ】世界の童話「ピノキオ」「ピーターパン」 【アニメ】ミッキーマウスシリーズ「ミッキーマウスのハワイ旅行」	17日(土)	15	15
1	【アニメ】日本の童話「かぐや姫」「したきりすずめ」ほか 【アニメ】新訂「かさじぞう」	14日(土)	11	11
2	天下一関白神獅子舞 若者たちが房に舞う(上河内町羽黒山神社)	18日(土)	7	7
3	【アニメ】世界名作劇場「あらいぐまラスカル」	18日(土)	7	7
合 計				327

(9) 県立博物館の日イベント

当館では、より多くの県民に来館していただいて県民に親しまれる博物館を実現するとともに、博物館事業をPRしていくため、平成26年度から毎月第3日曜日に「県立博物館の日イベント」を開催している。平成28年度の事業実績は以下のとおり。

期 日	博物館 入館者数 (人)	行 事	参加人数 (人)	備 考
4月17日	862	コンサート	74	宇都宮短期大学・附属高校
		ハイスクール・ファッションショー	71	宇短大附属高校
		ミュージック、ダンス&カリグラフィー	122	宇短大附属高校
		物販（カレー、小物類）	645	宇短大附属高校
		クイズにチャレンジ	47	
		とっておき講座	27	鉄腕フォッシルハンター，化石を語る！
		百人一首読み札ぬり絵	87	
		キッズツアー	26	4月なのに5月飾りの話
5月15日	840	コンサート	178	栃木県オペラ協会
		クイズにチャレンジ	53	
		とっておき講座	108	宇都宮藩主 戸田氏ーその歴史と文芸ー
		電子顕微鏡ーミクロの世界探検ー	84	
		百人一首読み札ぬり絵	97	
		キッズツアー	21	ぐるり☆犬巡り
6月19日	542	コンサート	195	Blue train（ジャズ・サックス）
		クイズにチャレンジ	35	
		とっておき講座	15	〇〇鉾山に行ってきました！
		百人一首読み札ぬり絵	83	
		キッズツアー	18	旅する鳥@とちぎ
7月17日	1,053	コンサート	535	宇都宮女子高校
		クイズにチャレンジ	48	
		とっておき講座	28	下野の戦国時代
		電子顕微鏡ーミクロの世界探検ー	60	
		百人一首読み札ぬり絵	72	
		カラスと書こう～読書感想文 初めの3行	16	
		キッズツアー	32	祭り・祀り・MATSURI！
8月21日	852	コンサート	193	壬生町少年少女合唱団
		クイズにチャレンジ	63	
		とっておき講座	29	楽しい！苦しい？昆虫調査
		気分は縄文時代のデザイナー	51	とちぎ子どもの未来創造大学講座
		百人一首読み札ぬり絵	53	
		キッズツアー	19	だいすき☆とちぎ
9月18日	839	コンサート	112	富士見太鼓・おはやし会
		クイズにチャレンジ	44	
		とっておき講座	56	毒のある植物
		百人一首読み札ぬり絵	83	
		キッズツアー	30	たぬきvs.きつね

10月16日	1,918	コンサート、ファッションショー	1,175	宇短大附属高校
		キョウリュウの卵カレー、小物物販		宇短大附属高校
		チアリーディング		宇短大附属高校
		とちぎの縁日	5,842	県農政部、宇都宮マルシェと共催
		クイズにチャレンジ	39	
		とっておき講座	60	近代日光と外国人
		中央公園の池の水をしらべよう	24	自然系体験学習
		百人一首読み札ぬり絵	57	
		キッズツアー	41	キノコのこのことこことツアー
11月20日	1,787	コンサート	1,046	野州小桜（こども八木節）、ひよこまめ、Lovely candy（さくら市）、佐野ブランドール
		佐野市観光協会物販	2,800	佐野ラーメン、いもフライ、さのまるグッズ、天明鋳物など
		クイズにチャレンジ	31	
		とっておき講座	23	キノコの不思議
		わか“ぺったん” ～オンリー・ワンの百人一首かるた札～	43	教育広報課体験活動
		百人一首読み札ぬり絵	57	
		キッズツアー	19	体験！1000年前のお買い物
12月18日	953	コンサート	210	ストロベリージュークボックス（サックス）
		オーガニックファーマーズマーケット	2,000	県農政部と共催
		クイズにチャレンジ	41	
		とっておき講座	15	むかしのくらし～おじいさんやおばあさんが子どもころ～
		中央公園の池の水をしらべよう	21	自然系体験学習
		百人一首読み札ぬり絵	16	
		キッズツアー	22	いろ～んな“石”みい～つけた
1月15日	477	コンサート	65	トリアエ's
		クイズにチャレンジ	33	
		とっておき講座	33	タイムマシン！130年前のカワウソの標本
		野鳥観察会	23	中央公園連携事業
		百人一首読み札ぬり絵	41	
		キッズツアー	12	カラフルワールド～色のれきし～
2月19日	871	コンサート	174	宇都宮大学マンドリン部
		クイズにチャレンジ	38	
		とっておき講座	28	古墳時代が始まるころ
		電子顕微鏡－ミクロの世界探検－	63	
		アニマル☆パラダイスプレ企画	102	動く鳥獣戯画
		百人一首読み札ぬり絵	68	
		キッズツアー	30	鳥獣戯画から見つけてみよう！ ～動物たちと伝統文化～
3月19日	756	コンサート	248	宇都宮南高校吹奏楽部
		クイズにチャレンジ	37	
		とっておき講座	18	美術のなかの動物たち
		電子顕微鏡－ミクロの世界探検－	60	
		百人一首読み札ぬり絵	31	
		キッズツアー	17	みぢかなクスリ

(10) 定時解説

担 当…解説嘱託員

開催日…毎週水曜日、土曜日、日曜日（「県立博物館の日イベント」実施日を除く）、祝日

時 間…13:30～

対 象…希望者

内 容…常設展示及び企画展・テーマ展に関する解説と案内

(11) 広報・広聴事業

種 類	内 容	規格等
①ポスターの発行	・企画展 宇都宮藩主 戸田氏－その歴史と文芸－ ・企画展 日光の昆虫 ・企画展 NIKKO －国際観光都市・日光の成立－	B 2（4色） B 2（4色） B 2（4色）
②リーフレットの発行	・平成28年度年間行事案内 ・観覧のしおり ・テーマ展リーフレット おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし、宇都宮ゆかりの画人、古墳時代が始まるころ－3・4世紀の人々の移動と交流－、アニマル☆パラダイス－美術のなかの動物たち－、キノコの不思議、収蔵庫は宝の山！－初公開の化石・鉱物・動植物－	420×210（巻きジャバラ折り 4色） A 3（4色、両面印刷、中折り）
③県広報媒体を利用したの広報	・県民だより ・とちぎ放送「県政ひとくちメモ」 ・県政スクランブル－栃木放送	広報誌・新聞・ラジオ・テレビ等
④報道機関への情報提供	・県政記者クラブ ・支局への資料提供 ・取材依頼 ・取材協力	タウン誌等
⑤出版社等への情報提供	・資料提供 ・取材依頼 ・取材協力	
⑥有料広告	・企画展 宇都宮藩主 戸田氏－その歴史と文芸－ ・企画展 日光の昆虫 ・企画展 NIKKO －国際観光都市・日光の成立－ ・とちぎの魅力発信事業 ・収蔵資料活用促進展示 収蔵庫は宝の山！ －初公開の化石・鉱物・動植物－	新聞 タウン誌
⑦入館者からの意見聴取	・月例アンケート調査（毎月第三日曜日に実施） ・企画展アンケート ・学校団体アンケート調査（随時） ・一般団体アンケート調査（随時） ・常設アンケート調査 ・行事参加者へのアンケート調査	
⑧インターネットを利用したの広報	・ホームページ運営 http://www.muse.pref.tochigi.lg.jp/ ・各種検索サイトへの登録 ・他機関サイトとの相互リンク ・栃木県公式ホームページ ・栃木県立博物館Twitter ・栃木県立博物館Facebook	
⑨近隣自治体への情報提供	・各企画展のポスター掲示 ・各企画展のチラシの回覧	

(12) 体験学習

No.	内 容	期 日	会 場	参加人数(人)	講 師
1	化石レプリカPart I	4月24日(日)	研修室	10	教育広報課 解説嘱託員
2	紙すき体験 ー世界に一つだけの〇〇ー	6月 5日(日)	研修室	30	
3	夏休み宿題応援企画Part I まゆ玉で昆虫標本をつくろう	7月24日(日)	研修室	56	
4	夏休み宿題応援企画Part II My 植物図鑑をつくろう	7月27日(水)	研修室	39	
5	夏休み宿題応援企画Part III 発見! 木の葉化石	8月10日(水)	研修室	54	
6	夏休み宿題応援企画Part IV 石を磨いてまが玉づくり	8月18日(木)	研修室	63	
7	化石レプリカPart II	9月11日(日)	研修室	62	
8	秋の自然のめぐみPart I ー木の実クラフトー	10月23日(日)	講堂	18	
9	秋の自然のめぐみPart II ー落ち葉ステンドー	11月27日(日)	研修室	19	
10	わか“ぴったん”♪ ー百人一首に挑戦ー	12月11日(日)	研修室	72	
11	ちょっと昔の暮らし体験	1月21日(土)	講堂	22	
12	をかし うつくし 雅な遊び ー貝合わせを作ろうー	2月18日(土)	研修室	4	
13	ペーパークラフトいきもの百科	3月12日(日)	研修室	15	
合 計				464	

(13) 体験活動

No.	内 容	期 日	会 場	参加人数(人)	講 師
1	タイムトラベル・戦国時代 ー鎧を着てみようー	4月30日(土)	2階ロビー	148	教育広報課 解説嘱託員
		11月 3日(木)	2階ロビー	142	
2	おりがみ「兜」	5月 3日(火)	2階ロビー	83	
3	わか“ばたばた” ー百人一首うちわを作ろうー	6月11日(土)	2階ロビー	105	
4	タイムトラベル・平安時代 ー十二単を羽織ってみようー	6月12日(日)	2階ロビー	90	
		8月27日(土)	2階ロビー	55	
5	七夕飾りを作ろう	8月27日(土)	2階ロビー	40	
6	おりがみ「おひなさま」	2月26日(日)	2階ロビー	38	
合 計				701	

(14) 出版事業

博物館の調査研究成果を発表し、利用者の便宜を図るため、次の図書等を発行した。

- (1)企画展「宇都宮藩主戸田氏－その歴史と文芸－」
企画展「日光の昆虫」
企画展「NIKKO－国際観光都市・日光の成立－」
- (2)研究紀要－人文－第34号
研究紀要－自然－第34号
- (3)年報第34号
- (4)収蔵資料目録

(15) 博物館実習生の指導

当館では開館翌年の昭和58年から博物館実習生を受け入れ、昭和62年には「栃木県立博物館実習生受け入れ要綱」を制定し、以後はそれに従って実習生の指導にあたっている。近年、実習を希望している学生が多様化していることから、平成12年度より実習中心のコースと講義中心のコースの二つに分けて実習生を受け入れることとし、受け入れ要綱を一部改正した。

本年度は計17大学45名の学生を受け入れ、実習中心のコースは19名、講義中心のコースは26名にて実習を行なった。

実習日程（実習中心コース）

第1日 7月28日（木）

開講式
博物館の概要（江田学芸部長）
企画展見学（栗原主任）
バックヤード・常設展見学
（篠崎特別研究員・坂井主任）
自然系学芸活動について（林自然課長）
人文系学芸活動について（森嶋人文課長）
教育広報活動について（柏村教育広報課長）
各担当者との打ち合わせ

第2日～第6日

各担当者との打ち合わせによる（10月末日まで）

実習日程（講義中心コース）

9月1日（木）

開講式
学芸部長講話（江田学芸部長）
館内展示等自由見学
人文系の博物館活動（森嶋人文課長）

自然系の博物館活動（林自然課長）
友の会の活動について（渡辺事務局長）

9月2日（金）

博物館の教育広報活動（柏村教育広報課長）
館内バックヤード見学（坂井主任ほか）
人文系の普及教育活動（篠崎特別研究員）
自然系の普及教育活動（坂井主任）
情報管理、ホームページについて（岡本主任研究員）

9月6日（火）

人文系資料の収集と整理（山本主任）
自然系資料の収集と整理（河野主任）
人文系の展示（飯塚主任研究員）
自然系の展示（栗原主任）

9月7日（水）

班別実習
考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

9月8日（木）

班別実習
考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

9月9日（金）

班別実習
考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学
閉講式

この他に、各大学における学芸員課程の一環として、下記大学の学生の見学を受け入れた。

帝京大学	4月23日（土）
宇都宮大学	8月10日（水）
東北生活文化大学	9月8日（木）
日本大学	10月25日（火）
茨城キリスト教大学	11月11日（金）
文星芸術大学	11月18日（金）
國學院大學栃木短期大学	11月23日（水）
帝京大学	1月7日（土）
文星芸術大学	1月22日（日）

(16) マイ・チャレンジ推進事業（社会体験学習）

①マイ・チャレンジ推進事業(社会体験学習)

当館ではこれまでも職業体験学習を受け入れてきたが、平成14年度より県全体で展開することになったマイ・チャレンジ推進事業をとおして、社会体験活動を受け入れている。

本年度の受入れは、10校、19名が活動に参加

した。

主な活動内容

- 第1日目 教育広報課(博物館の説明・館内見学)
教育広報課(解説員業務補助体験)
- 第2日目 人文課(資料の整理等)
教育広報課(解説員業務補助体験)
- 第3日目 自然課(資料の整理等)
教育広報課(普及教育活動補助体験)
- 第4日目 教育広報課(普及教育活動補助体験)、
情報交換会

6月14日(火)～17日(金)

宇都宮市立陽北中学校 1名

9月27日(火)～30日(金)

宇都宮市立一条中学校 1名

7月31日(日) (事業所訪問)

塩谷町立塩谷中学校 1名

9月28日(水)～30日(金)

文星芸術大学附属中学校 1名

10月18日(火)～21日(金)

宇都宮市立宝木中学校 4名

10月25日(火)～28日(金)

宇都宮市立陽南中学校 5名

11月8日(火)～11日(金)

上三川町立明治中学校 1名

11月15日(火)～18日(金)

宇都宮市立若松原中学校 1名

宇都宮市立清原中学校 3名

11月16日(水)～18日(金)

那須烏山市立南那須中学校 1名

(担当 教育広報課：馬籠和哉ほか)

②インターンシップ

高校生に対しては、就業意識を育成するために実施されるインターンシップの実習生徒の受け入れを行っているが、本年度の受け入れは無かった。

(17) 博物館体験プログラム

当館では学校等の教育関連施設の見学に合わせて展示解説の他に体験的な活動を実施できるプログラムを提供した。

「貴族のくらし」

(平安装束の着付け体験)

5月10日(火) 日光市立下原小学校 25名

5月26日(木) シルバー大学校中央校 38名

(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)

「貴族のくらし」「武士の暮らし」

(十二単・鎧着付け体験)

5月19日(木) 栃木県立栃木特別支援学校

ひばり分教室 14名

5月24日(火) 宇都宮市立白沢小学校 52名

6月2日(木) 宇都宮市立中央小学校 47名

7月21日(木) 宇都宮市立五代小学校 123名

11月10日(木) 真岡市立東沼小学校 11名

11月22日(火) 日光市立小百小学校 8名

(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)

「武士の暮らし」「昔を調べる」

(鎧着付け体験・天秤棒体験)

3月28日(火) まこと幼稚園

アフタースクール夢の学舎 9名

(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)

「昔をしらべる」

(蓄音機体験)

9月13日(火) 栃木県立栃木特別支援学校 13名

9月29日(木) 栃木県立栃木特別支援学校 16名

(天秤棒体験)

10月14日(金) 宇都宮市立平石中央小学校

27名

(天秤棒・火起こし体験)

12月6日(火) 宇都宮市立細谷小学校 95名

(石臼体験)

12月15日(木) 栃木県立富屋特別支援学校

鹿沼分校 21名

2月3日(金) 宇都宮市立宮の原小学校 51名

(石臼・火起こし体験)

10月27日(木) 大田原市立宇田川小学校 47名

(石臼・天秤棒体験)

5月20日(金) 那須町立東陽小学校 30名

1月12日(木) 宇都宮市立岡本北小学校 57名

(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)

「勾玉づくり」

6月10日(金) 真岡市立大内西小学校 20名

7月23日(土) 宇都宮市西生涯学習センター

20名

10月6日(木) 鹿沼市適応指導教室

アメニティーホーム 14名

(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)

「化石発掘体験」

11月22日(火) 日光市立落合東小学校 33名
(担当 教育広報課職員・解説嘱託員)

(18) 教職10年目社会体験等研修等の実施

当館では、教職経験9年目、10年目の教員を対象に平成15年度から導入された、学校以外の施設や企業等における社会体験研修の希望者を受け入れ実施した。

主な活動内容

教育広報課での研修

博物館業務の説明、解説員業務の補助・体験、普及教育活動補助

学芸部各課での研修

資料の取り扱いについての研修、学芸員業務補助・体験

7月8日(金)

栃木県立栃木高等学校 1名

7月27日(水)

那須塩原市立東原小学校 1名

栃木県立富屋特別支援学校 1名

栃木県立宇都宮中央女子高等学校 1名

栃木県立宇都宮女子高等学校 1名

8月9日(火)～13日(金)

作新学院小学部 1名

8月9日(水)

真岡市立物部小学校 1名

8月10日(水)

矢板市立乙畑小学校 1名

壬生町立羽生田小学校 1名

さくら市立氏家中学校 1名

8月18日(金)

栃木県立茂木高等学校 1名

計11名

(担当 教育広報課：馬籠和哉ほか)

(19) 教員研修

博物館職員が教員を対象とした研修等を実施した。

○体験しまSHOW博物館！(衣装編)

十二単を中心に古代の衣装や関連の資料を用いながら実際の活用例を紹介した。

期日：5月29日(日)

会場：博物館会議室(参加者：1名)

(担当 教育広報課：沼尾孝之)

○体験しまSHOW博物館！(理科地学分野編)

地学系分野の貸出資料(教育広報課)を中心に小学校での活用例や出前授業の実践例を紹介した。

期日：7月29日(金)

会場：博物館研修室(参加者：16名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○体験しまSHOW博物館！(昔の道具編)

民俗系分野の貸出資料を中心に小学校での活用例や出前授業の実践例を紹介した。

期日：8月5日(金)

会場：博物館研修室(参加者：4名)

(担当 教育広報課：沼尾孝之)

○栃木県高等学校定時制通信制部会研修会

期日：7月26日(火)

会場：博物館講堂、研修室

午前は、栃木県の地層や化石について概説した。宇都宮市の鬼怒川河床で発見された化石鯨骨群集や化石からみた生物の新価なども合わせて紹介した。午後は、塩原湖成層と植物化石について概説した後、木の葉石原石からの化石取り出し体験を行った。また、堆積構造モデル観察装置作りも行った。(参加者：78名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○大田原市非常勤教諭研修会

期日：8月2日(火)

会場：那須塩原市上塩原(野外)

塩原湖成層の観察と地層剥ぎ取り標本作製を行った。塩原湖成層の成り立ちや野外観察の指導法、剥ぎ取り標本の授業での活用の仕方なども紹介した。(参加者：16名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○宇都宮市小学校理科同好会

期日：8月6日(土)

会場：高根沢町・鬼怒川河床(野外)

高根沢町歴史民俗資料館

高根沢町の鬼怒川河床で、地層の観察と化石採取を行った。野外観察の指導法も合わせて紹介した。高根沢町歴史民俗資料館では、開催中の「化石をさぐる～アンモナイトに会い来ナイト」の展示解説のほか、化石資料の授業での活用法について紹介した。(参加者：24名)

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○鹿沼市理科同好会

期日：8月17日（水）

会場：那須塩原市上塩原、和田山（野外）

午前、塩原湖成層の観察と木の葉化石園の見学を行った。塩原湖成層の成り立ちや産出化石から見た古環境なども紹介した。午後は、海成層の観察と化石採取を行った。野外観察の指導法や化石の処理などについて概説した。（参加者：29名）
（担当 教育広報課：柏村勇二）

○理科専門研修Ⅰ～地学分野の指導法～

期日：8月19日（金）

会場：那須烏山市南大和久（野外）

那須烏山市立南那須中学校

野外での地層観察と化石採取を行った後、室内で、化石クリーニングと同定を行った。地層観察は、第四紀のローム層と新第三紀の海成層を題材とした。栃木県の地層や化石について概説したほか、小中学校での地学分野の教育法について事例紹介した。また、那須烏山ジオパーク構想について概説した。（参加者：34名）
（担当 教育広報課：柏村勇二）

○野外活動研修会

期日：8月23日（火）

会場：那須塩原市上塩原、和田山（野外）

地層の観察を中心とした校外学習実施に向けた研修会を行った。（参加者：5名）
（担当 教育広報課：柏村勇二）

（20）館内オープンスペースの活用

①季節替わり展示

平成26年度より当館のエントランスはオープンスペースとして、より多くの県民が気軽に利用できるよう整備し、毎月第3日曜日に開催する県博デーイベントなどを中心に情報発信の場や憩いの場として活用されている。
このオープンスペース活用の一環として、月替わりで教育広報課の貸出資料等を展示するコーナーを設け、季節に合わせた展示を実施した。

「端午の節句と鎧編」

4月16日（土）～5月8日（日）

「七夕編」

7月15日（金）～8月7日（日）

「衣装の移り変わり編」

8月9日（火）～9月4日（日）

「大地のつくりと変化」

10月1日（土）～12月2日（金）

「宇都宮と百人一首」

11月1日（火）～12月2日（金）

「昔の道具とくらし編」

12月3日（土）～2月14日（火）

「雅な衣装～ひなまつり～編」

2月18日（土）～3月7日（火）

（21）とちぎ子どもの未来創造大学

栃木県教育委員会が主催する事業で、子どもたちの学力向上の基礎作りを目的とする。本物に触れる学習機会を提供することで、学ぶ意欲や主体的に学習に取り組む姿勢の涵養をめざす事業である。

○化石三昧①

期日：7月17日（日）

会場：那須塩原市上塩原、和田山（野外）

午前中に塩原湖成層の観察と木の葉石原石からの化石取り出しを行った。午後は海成層の地層観察と貝類を中心とした化石採取を行った。（参加者：105名）

（担当 教育広報課：柏村勇二）

○化石三昧②

期日：7月18日（月）

会場：栃木県立博物館講堂、研修室

栃木県の地層や化石について概説した後、化石三昧①で採取した化石のクリーニングと同定に挑戦した。同定結果を基に古環境について考察した。（参加者：105名）

（担当 教育広報課：柏村勇二）

○とちぎの木の葉石

期日：7月18日（月）

会場：栃木県立博物館講堂、研修室

塩原湖成層の成り立ちや産出する化石について概説した後、木の葉石原石からの化石取り出しとクリーニング、同定に挑戦した。（参加者：86名）
（担当 教育広報課：柏村勇二）

○気分は縄文時代のデザイナー

期日：8月21日（日）

会場：栃木県立博物館エントランス

縄文時代のデザインを学ぶため、数種類の縄文土器や土偶などの文様部分をトレース・着色し、プラ板製キーホルダーを作成した。（参加者：51人）

(担当 教育広報課：馬籠和哉、
人文課：川又隆一郎)

○恐竜教室

期日：9月24日（土）

会場：栃木県立博物館講堂、研修室、展示室1
恐竜について生きものとしての特徴や生態を中心に説明した。大繁栄したわけや進化、最近の恐竜研究なども紹介した。映像資料のほか、展示資料を活用しながら講座を展開した。（参加者：51名）

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○化石を探る

期日：11月3日（木）

会場：栃木県立博物館研修室

化石から何がわかるのかを概説した後、実際に化石を観察し、体のつくりの特徴から古生態や進化などを考察したり、化石の産状からタフォノミー（化石化のプロセス）を考察したりした。参加者個人で考えたことをグループ内で発表し合い、考えをより深め合えるようにした。（参加者：88名）

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○恐竜教室

期日：11月12日（土）

会場：宇都宮共和大学那須キャンパス

恐竜について生きものとしての特徴や生態を中心に説明した。大繁栄したわけや進化、最近の恐竜研究なども紹介した。映像資料のほか、化石資料を活用しながら講座を展開した。とちぎの子ども未来創造大学の出前講座として、那須塩原市教育委員会主催の「なすしおばらまなび博覧会」の講座のひとつとして実施した。（参加者：72名）

(担当 教育広報課：柏村勇二)

○3D・文化財ラボ①②

期日：11月19日（土）

会場：栃木県立博物館研修室

当館の3D計測事業の協力企業である有限会社那須化成から講師を招き、3D計測に関する講義後3Dプリンタで射出成型する様子を見学した。（参加者：37人）

(担当 人文課：森嶋秀一、教育広報課：
馬籠和哉)

○特別体験学習

期日：1月28日（土）

会場：栃木県立博物館研修室

平成28年度のとちぎ子どもの未来創造大学で、4単位以上取得した児童生徒を対象に実施。

午前は「化石を探る」と題し、化石から何がわかるのかを概説した後、実際に化石を観察し、体のつくりの特徴からは古生態や進化などを、産状からはタフォノミー（化石化のプロセス）を考察した。

午後は「考古学でモノづくり」と題し、3D計測技術の活用についての講義後、シリコン型を使用して石膏のマグネットを製作した。

(参加者：35名)

(担当 教育広報課：柏村勇二・馬籠和哉、
人文課：森嶋秀一)

以下の講座は、当館自然系講座および観察会との共催として実施した。

○セミの羽化を見よう（7月30日（土））

○日光のカミキリムシとタマムシの深い話（8月6日（土））

○土と肥料の微妙な関係（9月10日（土））

○キノコの観察会in中央公園（10月1日（土））

○火山灰は宝石箱（11月12日（土））

(22) 来て！見て！学ぼう博物館！

平成28年度から新規事業として、諸事情から来館できない県内の小規模校を対象に、小学校第6学年理科単元「大地のつくりと変化」の学習活動の充実を図るために県バスを利用して博物館を活用してもらう事業であり、今年度は4校受け入れた。

・10月4日（火）

日光市立清滝小学校 8名

・10月7日（金）

鹿沼市立清洲第二小学校 19名

・11月1日（火）

宇都宮市立国本西小学校 17名

・11月22日（火）

小山市立延島小学校 15名

(担当 教育広報課：柏村勇二・沼尾孝之
・馬籠和哉)

9 平成28年度 栃木県立博物館 催し物一覧

月		4	5	6	7	8	9
企画展			宇都宮藩主 戸田氏ーその歴史と文芸ー			日光の昆虫	
		29		12	16		19
テーマ展等					栃木の平野の暮らしー畑作ー		4
					16		
		ミル・シル・オイシイ エビカニ展		19	巡回展 栃木の遺跡		4
					16		
企画展関連行事	講演会		8,22企画展記念講演会		16企画展記念講座会		
	講座・観察会	29企画展オープニング講座			23昆虫観察in日光	6日光のカミキリムシとタマムシの深い話	
	企画展関連		1企画展展示解説	5企画展展示解説	23企画展展示解説 24企画展展示解説	14企画展展示解説	
	テーマ展関連		21展示解説 ミル・シル・オイシイ エビ・カニ展		23展示解説巡回展栃木の遺跡	7展示解説 栃木の平野の暮らしー畑作ー	
観察会・見学会		16春の植物を見つけよう 23春の磯をのぞいてみよう	7夜の観察会「カエルとサンショウウオの夕べ」 14木の葉の化石しらべ 14ナスヒオウギアヤマ鑑賞会	4モリアオガエル観察会	30セミの羽化を見よう	20泥だんごをつくろう！ ～あそんで学ぼう！土のひみつ～	10土と肥料の微妙な関係
講座	考古						
	歴史		15とっておき講座「宇都宮藩主 戸田氏ーその歴史と文芸ー」				
	民俗			11栃木の民話語り			
	植物			4田んぼの生きものミクロたんけん	18日光の自然と野外調査のポイント		18とっておき講座「毒のある植物」
	動物			11生物・地学収蔵庫ガイド		13昆虫標本をつくってみよう 21とっておき講座「楽しい！ 苦しい？ 昆虫調査」 28土の中にはどんな虫が？	
	地学	17とっておき講座「鉄腕フォッシルハンター、化石を語る！」		19とっておき講座「〇〇鉱山に行ってきました！」	17とっておき講座「下野の戦国時代」 30カチカチ発電機をつくろう！ ～鉱物をヒントに生まれた発明～		
	総合						
県博デー	コンサート	17宇都宮短期大学・宇短大附属高校	15県オペラ協会	19サックスユニットブルートレイン	17宇都宮女子高等学校	21壬生町少年少女合唱団	18富士見太鼓・おはやし会
	クイズにチャレンジ	17	15	11,19	17	21	18
	体験活動		15電子顕微鏡-ミクロの世界探検-		17電子顕微鏡-ミクロの世界探検-	21気分は縄文時代のデザイナー	
教員研修			29体験しまSHOW 博物館！衣装編		29体験しまSHOW 博物館！理科地学分野編	5体験しまSHOW 博物館！昔の道具編	
体験学習・体験活動		24化石レプリカ Part I 30タイムトラベル・戦国時代～鎧を着てみよう①～	3折り紙「兜」	5紙すき体験～世界に一つだけの〇〇～ 11わか「ばたばた」百人一首うちわをつくろう 12タイムトラベル・平安時代～十二単を羽織ってみよう①～	24夏休み宿題応援企画Part I まゆ玉で昆虫標本をつくろう 27夏休み宿題応援企画Part II My植物図鑑をつくろう 1 8七夕飾りを作ろう	10夏休み宿題応援企画Part III 発見！木の葉化石 27タイムトラベル・平安時代～十二単を羽織ってみよう②～	11化石レプリカ Part II
映画会		16	4, 5, 14	12, 18	18	6, 20	17, 19
博やる						18夏休み宿題応援企画Part IV 石を磨いてまが玉づくり	
定時解説							
市町連携事業	地域移動博共催展	2/20～5/8 関本平入展（日光市）				6/25～8/7 とちぎのカエルとサンショウウオ（芳賀町） 5/28～8/28ホネ博2016（那須塩原市）	
				6/16～6/30 うつのみやの自然（宇都宮市）	7/16～8/31 生活の中の鉱物（佐野市） 7/16～9/4 2億4千万年のハサミ（市貝町） 7/9～8/28 化石をさぐる（高根沢町） 7/16～9/11 恐竜ワールド（さくら市） 7/23～9/4 キノコの世界（益子町）		
	移動講座	3/19～5/8 「桜」（下野市）					
	学校移動博		21何がでるかな・・・？ わくわく化石教室（足利市） 28骨が語る動物の進化（那須塩原市）	5/31-6/6北小（上三川町） 7-10栃木第五小（栃木市）	22民俗文化財について（壬生町） 30火山灰は宝石箱（那須町） 30カエルのふしぎイモリのひみつ（芳賀町） 31化石のレプリカをつくろう！（さくら市）	6生活の中の鉱物 ～カチカチ発電機を作ろう～（佐野市） 7エビ・カニ・ヤドカリの世界（市貝町） 11栃木県の昆虫～その特徴と多様性～（小山市） 11栃木県内に見られるコウホネ類について（那須烏山市） 27昆虫の多様な世界（塩谷町）	10ジオパークの先例に学ぶ：天草ジオパーク（那須烏山市）
備考				6/21	7/3燻蒸期間		
博物館協会			19博物館文化財セミナー 25栃博協第1回理事会・総会・学芸活動奨励賞成果報告会				

10	11	12	1	2	3
NIKKO-国際観光都市・日光の成立-					
8 ←	20 →				
		6 ←	おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし		
		7 ←	宇都宮ゆかりの画人	→ 12	25 ← アニマル☆パラダイス
		7 ←	古墳時代の始まるころ・3・4世紀の人々の移動と交流		
1 ←	キノコの不思議			→ 22	あつまれ！自然好き：ポスター発表
				4 ←	→ 5 18 ← 収蔵庫は宝の山！ 初公開の化石・鉱物・動植物
30企画展記念講演会					
8企画展オープニング講座					
	12企画展展示解説				
		4展示解説 キノコの不思議	7,14,21,28おじいさんやおばあさんの民話語り 22展示解説 宇都宮ゆかりの画人	4,11,18,25おじいさんやおばあさんの民話語り 12展示解説 古墳時代が始まるころ	4,11,18,25おじいさんやおばあさんの民話語り 5展示解説 アニマル☆パラダイス 20展示解説 収蔵庫は宝の山！ 26講演会「宝の山！博物館の収蔵庫」
1キノコの観察会in中央公園 22めざせ！ゴールドハンター☆砂金を探せ！	5沼の生きものと水の環境を探る				
				19とっておき講座「古墳時代が始まるころ」	
16とっておき講座「近代日光と外国人」					19とっておき講座「美術のなかの動物たち」
		18とっておき講座「むかしのからし〜おじいさんやおばあさんが子どもころ〜」			
	20とっておき講座「キノコの不思議」				
	↑				
	3生物・地学収蔵庫ガイド		15とっておき講座「タイムマシン！130年前のカワウソの標本」	26活動・研究発表会「あつまれ！自然好き」	
	↓				
	12火山灰は宝石箱	17歯医者さんが使う材料でつくる化石レプリカ			
16宇都宮短期大学・宇短大附属高校	20野州小桜、ひよこまめ、Lovely candy、佐野ブランドール	18ストロベリージュークボックス	15トリアエ's	19宇都宮大学マンドリン部	19宇都宮南高等学校
16	3,20	18	15	19	19
16中央公園の池の水をしらべよう	20わか“べったん”〜オンリー・ワンの百人一首かるた札〜	18中央公園の池の水をしらべよう		19電子顕微鏡-ミクロの世界探検-	19電子顕微鏡-ミクロの世界探検-
23秋の自然のめぐみ Part I 〜木の実クラフト〜	3タイムトラベル・戦国時代〜鎧を着てみよう②〜	11わか“べったん”♪〜百人一首に挑戦〜		18をかし うつくし 雅な遊び〜貝合わせを作ろう〜 26折り紙「おひなさま」	12ペーパークラフト いきもの百科
15	3, 19	17	14	18	18
	27秋の自然のめぐみPart II 〜落ち葉ステンド〜		21ちょっと昔の暮らし体験		
→					
→ 9/10〜12/4 知ってる？ふるさとの植物（大田原市）					
3/25〜5/7 「桜」（下野市） ←					
15アメリカザリガニ捕り（宇都宮市） 26近世下野国の水運について（塩谷町）		10サンショウウオ保全活動説明会（宇都宮市） 10那須烏山の化石（那須烏山市）			18トウキョウサンショウウオ救出作戦（宇都宮市）
18-21山形小（佐野市）	8-11南小（さくら市） 15-18栃木県立盲学校				
1栃博協親子の集い					5栃博協講演会 9・10日博協研究協議会 16栃博協第2回理事会・学芸活動奨励賞成果報告会

Ⅱ 諸統計

1 平成28年度入館者統計

平成27年度 114,517人

平成28年度の入館状況は、下表に示すように開館日数289日、入館者数187,495人（一日平均298.6人）であった。本年度入館者数は前年度より 72,978人の増となり、昭和57年の開設以来の累計は5,301,921人となった。年間入館者数が18万人を突破したが、これは本館入館者数が好調であったことに加え、共催展の開催により、移動博物館等の入館者数が大幅に増加したことによる。平成28年度の入館者区分の人数及びその構成は下表のとおりである。

入館状況

年 度		開 館 日 数	有 料 入 館									
			個 人				団 体					計
			一 般	大学生 高校生	中学生 小学生	小 計	団体数	一 般	大学生 高校生	中学生 小学生	小 計	
昭和57年 10月から 平成28年 3月まで		日	人	人	人	人	組	人	人	人	人	人
		9,707	1,328,171	69,474	378,315	1,775,960	7,699	288,937	3,089	44,592	336,618	2,112,578
平 成 28 年 度	4	26	1,603	50		1,653	0	95	0		95	1,748
	5	25	3,631	96		3,727	2	249	2		251	3,978
	6	17	1,389	23		1,412	1	117	0		117	1,529
	7	24	2,043	49		2,092	3	185	0		185	2,277
	8	25	3,037	111		3,148	0	141	3		144	3,292
	9	25	1,775	73		1,848	0	98	0		98	1,946
	10	26	2,170	56		2,226	2	211	1		212	2,438
	11	24	1,718	44		1,762	0	149	1		150	1,912
	12	23	1,060	50		1,110	0	73	1		74	1,184
	1	23	1,502	51		1,553	2	139	1		140	1,693
	2	24	1,504	44		1,548	1	129	6		135	1,683
	3	27	1,815	83		1,898	1	123	0		123	2,021
	計	289	23,247	730		23,977	12	1,709	15		1724	25,701
1日あたり平均			80.4	2.5	83.0	0.0	5.9	0.1		6.0	88.9	
累計		9,996	1,351,418	70,204	378,315	1,799,937	7,711	290,646	3,104	44,592	338,342	2,138,279

また、免除団体280団体のうち、168団体が学校教育法に基づく学校となっている。学校種別にみると小学校が120校6,245人と最も多い。10月～2月が多いのは、遠足シーズンのほか小学校3・4年生で行う社会科の授業にあわせた展示「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」を12月から3月にかけて開催している為である。

免除団体		招待 待 者 等	第 2 ・ 4 土 曜 注 (1)	小 (個 人) 中 学 生 注 (2)	特 別 観 覧 注 等 (3)	合 計	移 動 博 物 館 注 等 (4)	総 計	一 日 あ た り 平 均 注 (5)
団 体 数	人 数								
組 11,180	人 840,127	人 126,923	人 7,876	人 143,205	人 865,802	人 4,096,511	人 1,017,915	人 5,114,426	
6	392	140		664	2,388	5,332	8,704	14,036	205.1
20	942	699		697	2,845	9,161	3,539	12,700	366.4
21	3,207	370		738	2,420	8,264	37,158	45,422	486.1
27	1,043	291		869	2,829	7,309	19,945	27,254	304.5
13	509	351		1,755	2,785	8,692	20,999	29,691	347.7
23	1,209	312		777	2,598	6,842	3,201	10,043	273.7
34	1,265	494		766	3,955	8,918	1,744	10,662	343.0
43	2,153	732		648	3,826	9,271	3,593	12,864	386.3
26	1,439	86		446	1,967	5,122	1,137	6,259	222.7
31	1,809	88		618	1,669	5,877	423	6,300	255.5
28	1,105	106		445	2,203	5,542	163	5,705	230.9
8	328	151		690	2,778	5,968	591	6,559	221.0
280	15,401	3,820		9,113	32,263	86,298	101,197	187,495	298.6
1.0	53.3	13.2		31.5	111.6	298.6	350.2	648.8	
11,460	855,528	130,743	7,876	152,318	898,065	4,182,809	1,119,112	5,301,921	

- 注（１）第2・第4土曜の観覧は小・中学生で統計は平成9年度から平成13年度までである。
（２）小中学生（個人）は平成14年度からである。
（３）特別観覧等は優待券、事業参加者、業務調査、幼児等である。
（４）移動博物館等は学校移動博物館及び地域移動博物館等である。
（５）一日あたり平均は移動博物館等入館者数を除いた数である。

有料団体入館状況

年 度	月	団 体 種 別																			
		国・県 市町村		市町村 教 委		公民館		女性団体等		老人会		子供会		P T A		研修会等		事業所		観 光	
昭和57年10 月から平成 28年3月まで		組 486	人 16,696	組 288	人 10,594	組 528	人 19,167	組 806	人 26,365	組 888	人 32,928	組 1,040	人 49,044	組 938	人 40,810	組 916	人 36,862	組 766	人 35,091	組 342	人 17,542
平成 28 年 度	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	1	32	0	0	0	0	0	0	1	25	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	34	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	1	32	0	0	1	34	0	0	1	25	0	0	0	0
累 計		486	16,696	288	10,594	528	19,167	807	26,397	888	32,928	1,041	49,078	938	40,810	917	36,887	766	35,091	342	17,542

観覧料免除団体のうち学校教育法第1条に基づく学校引率団体入館状況

年度	月	学 校 種 別																	
		幼 稚 園 (1)			小 学 校			中 学 校			高等学校			特別支援学校			大 学 (2)		
		園数	園児	引率	校数	児童	引率	校数	生徒	引率	校数	生徒	引率	校数	生徒	引率	校数	学生	引率
昭和57年10月から平成28年3月まで		園86	人4,791	人610	校5,044	人329,697	人18,992	校749	人70,875	人3,931	校599	人96,489	人4,602	校526	人16,044	人3,515	校117	人2,849	人170
平成28年度	4	0	0	0	1	110	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	50	2
	5	0	0	0	5	283	18	0	0	0	1	12	5	2	14	18	0	0	0
	6	0	0	0	4	237	19	0	0	0	0	0	0	1	4	5	1	5	0
	7	1	70	16	3	148	8	2	277	21	2	47	4	3	34	21	1	21	1
	8	1	21	3	0	0	0	5	103	13	1	45	6	0	0	0	1	30	2
	9	0	0	0	7	504	32	0	0	0	1	35	2	4	33	26	0	0	0
	10	1	27	4	19	690	53	1	30	2	0	0	0	1	14	10	0	0	0
	11	2	156	15	16	674	45	2	12	5	1	21	3	1	6	6	3	34	4
	12	0	0	0	21	1,297	71	0	0	0	0	0	0	1	12	8	1	9	0
	1	0	0	0	24	1,413	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	34	2
	2	1	33	4	18	728	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	2	71	7	2	161	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	8	378	49	120	6,245	396	10	422	41	6	160	20	13	117	94	11	183	11
累計	94	5,169	659	5,164	335,942	19,388	759	71,297	3,972	605	96,649	4,622	539	16,161	3,609	128	3,032	181	

団体種別				所 在 地 別									
その他		合計		市内		県 内		県 外		不 明		合 計	
組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人
701	44,597	7,699	329,696	749	44,575	4,012	159,621	2,918	123,326	20	2,174	7,699	329,696
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	60	2	60	1	40	1	20	0	0	0	0	2	60
1	33	1	33	0	0	1	33	0	0	0	0	1	33
3	77	3	77	0	0	0	0	3	77	0	0	3	77
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	2	57	0	0	1	32	1	25	0	0	2	57
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	24	2	58	0	0	1	24	1	34	0	0	2	58
1	21	1	21	1	21	0	0	0	0	0	0	1	21
1	25	1	25	0	0	1	25	0	0	0	0	1	25
9	240	12	331	2	61	5	134	5	136	0	0	12	331
710	44,837	7,711	330,027	751	44,636	4,017	159,755	2,923	123,462	20	2,174	7,711	330,027

学 校 種 別						所 在 地 別 (学校数)										
その他の学校 (3)			合 計			河 内	上 都 賀	芳 賀	下 都 賀	塩 谷	那 須	南 那 須	安 足	県 外	合 計	
校数	児 童 学 生	引率	校数	児 童 学 生	引率											
校 535	人 25,794	人 1,839	校 7,656	人 546,539	人 33,659	校 3,150	校 629	校 486	校 701	校 379	校 572	校 172	校 312	校 1,255	校 7,656	
			3	160	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
			8	309	41	5	1	0	1	0	1	0	0	0	0	8
			6	246	24	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	6
			12	597	71	5	2	0	3	0	0	0	1	1	12	
			8	199	24	4	1	0	0	0	1	0	1	1	8	
			12	572	60	3	0	1	3	0	1	0	1	3	12	
			22	761	69	7	4	2	3	0	4	0	0	2	22	
			25	903	78	8	4	4	4	0	3	0	0	1	24	
			23	1,318	79	15	4	0	1	1	2	0	1	0	24	
			26	1,447	81	17	2	3	0	0	4	0	0	0	26	
			19	761	64	11	5	0	1	0	1	0	0	1	19	
			4	232	14	3	0	0	0	0	1	0	0	0	4	
0	0	0	168	7,505	611	83	24	12	17	1	18	0	4	9	168	
535	25,794	1,839	7,824	554,044	34,270	3,233	653	498	718	381	590	172	316	1,264	7,824	

注 (1) 幼稚園は平成21年度からである。
(2) 大学は平成21年度からである。
(3) その他の学校の統計は平成20年度まで大学と幼稚園分が含まれている。

曜日別入館者状況

年 度	月	日曜・祝日 振替休日		火 曜		水 曜		木 曜		金 曜		土 曜		計		摘 要	
		日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	最高	最低
昭和57年10月 から平成28年 3月まで		日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	人	人
		2,057	1,859,728	1,432	571,190	1,540	639,002	1,536	636,004	1,547	582,328	1,595	826,174	9,707	5,114,426	-	-
平成 28 年 度	4	5	5,171	4	1,305	4	1,751	4	1,070	4	1,142	5	3,597	26	14,036	862	44
	5	8	6,899	4	754	3	1,274	3	1,150	3	657	4	1,966	25	12,700	840	100
	6	3	32,509	2	1,232	3	1,733	3	1,739	3	2,844	3	5,365	17	45,422	2,013	135
	7	5	12,735	3	1,493	4	2,049	4	2,609	4	2,562	4	5,806	24	27,254	1,053	49
	8	5	9,014	5	4,158	5	4,857	3	3,058	3	2,632	4	5,972	25	29,691	852	156
	9	6	4,276	3	854	4	1,177	4	634	4	894	4	2,208	25	10,043	839	80
	10	6	5,299	3	926	4	980	4	813	4	634	5	2,010	26	10,662	1,918	75
	11	6	5,914	5	1,481	4	1,658	2	958	3	765	4	2,088	24	12,864	1,787	71
	12	5	2,114	4	1,210	3	522	4	852	3	543	4	1,018	23	6,259	953	54
	1	5	1,699	3	670	3	794	4	822	4	1,203	4	1,112	23	6,300	477	62
	2	5	2,461	4	470	4	794	4	533	4	668	3	779	24	5,705	871	83
	3	5	2,417	3	501	5	658	5	950	5	902	4	1,131	27	6,559	756	53
計		64	90,508	43	15,054	46	18,247	44	15,188	44	15,446	48	33,052	289	187,495		
構成割合		48.3%		8.0%		9.7%		8.1%		8.2%		17.6%		100.0%			
一日当たり 入館者数		1,414		350		397		345		351		689		649			
累計		2,121	1,950,236	1,475	586,244	1,586	657,249	1,580	651,192	1,591	597,774	1,643	859,226	9,996	5,301,921		

年度別入館者状況

年度 月	昭和58年度 ～ 昭和63年度	平成元年度 ～ 平成20年度	平成 21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
4	人 100,146	人 142,434	人 4,956	人 4,148	人 4,260	人 6,694	人 5,650	人 4,974	人 6,722	人 14,036
5	192,439	323,990	9,240	7,453	8,330	11,741	14,391	7,429	10,724	12,700
6	90,474	226,201	11,009	8,089	6,072	10,606	12,175	6,845	6,887	45,422
7	89,088	255,701	32,683	20,594	20,350	16,110	14,693	17,665	12,176	27,254
8	181,970	565,995	62,677	41,212	34,469	24,147	24,595	33,313	19,453	29,691
9	95,205	207,827	6,511	6,934	9,027	9,441	8,403	9,415	9,382	10,043
10	160,618	241,953	6,476	8,206	9,277	11,262	9,373	7,751	11,614	10,662
11	198,998	259,314	12,468	8,953	9,954	22,097	12,873	11,599	10,266	12,864
12	60,653	75,032	3,630	3,901	632	1,531	5,155	5,863	5,206	6,259
1	81,743	124,221	6,444	6,225	5,110	4,913	9,069	6,482	6,453	6,300
2	115,806	150,631	6,526	9,053	5,902	7,190	5,775	7,179	7,771	5,705
3	132,456	128,099	4,948	3,714	6,431	4,125	5,297	7,230	7,863	6,559
計	1,499,596	2,701,398	167,568	128,482	119,814	129,857	127,449	125,745	114,517	187,495
累計	1,499,596	4,200,994	4,368,562	4,497,044	4,616,858	4,746,715	4,874,164	4,999,909	5,114,426	5,301,921

入館者比較表（参考資料）

月別	平成27年度入館者数			平成28年度入館者数			比較増減			平成27年度 団 体 数		平成28年度 団 体 数	
	本館	移動博等	計	本館	移動博等	計	本館	移動博等	計	県内	県外	県内	県外
4	人 5,933	人 789	人 6,722	人 5,332	人 8,704	人 14,036	△ 人 601	人 7,915	人 7,314	組 2	組 0	組 6	組 0
5	7,423	3,301	10,724	9,161	3,539	12,700	1,738	238	1,976	27	2	21	1
6	5,798	1,089	6,887	8,264	37,158	45,422	2,466	36,069	38,535	21	1	22	0
7	5,623	6,553	12,176	7,309	19,945	27,254	1,686	13,392	15,078	16	2	25	5
8	10,293	9,160	19,453	8,692	20,999	29,691	△ 1,601	11,839	10,238	12	2	11	2
9	7,462	1,920	9,382	6,842	3,201	10,043	△ 620	1,281	661	20	0	19	4
10	7,604	4,010	11,614	8,918	1,744	10,662	1,314	△ 2,266	△ 952	32	9	33	3
11	6,309	3,957	10,266	9,271	3,593	12,864	2,962	△ 364	2,598	21	2	40	3
12	4,511	695	5,206	5,122	1,137	6,259	611	442	1,053	24	1	25	1
1	5,919	534	6,453	5,877	423	6,300	△ 42	△ 111	△ 153	36	0	32	1
2	7,221	550	7,771	5,542	163	5,705	△ 1,679	△ 387	△ 2,066	32	0	28	1
3	6,080	1,783	7,863	5,968	591	6,559	△ 112	△ 1,192	△ 1,304	21	0	9	0
計	80,176	34,341	114,517	86,298	101,197	187,495	6,122	66,856	72,978	264	19	271	21

2 アンケート調査による入館者の実態

当館では、開館以来アンケート調査を実施し、入館者の実態を把握し、その活動や運営に生かすよう努めている。アンケートは日常的に実施する「日々アンケート」と、毎月第3日曜日に開催する県立博物館の日イベント（県博デー）に特化した「県博デーアンケート」の2種類がある。この2種のアンケートは、来館目的に関する項目が異なるだけで、大きな違いはない。「日々アンケート」は、館内3箇所に設置されたアンケート回収ボックス脇に準備されており、来館者が自由に回答できるようになっている。「県博デーアンケート」は、回収ボックスを6箇所に増やし「日々アンケート」と同様に自由に回答してもらうようにしている。

「日々アンケート」は月2回、「県博デーアンケート」は県博デー実施直後にそれぞれ集計している。各アンケートの集計結果は各課で回覧し、来館者の声を迅速にフィードバックできるよう努めている。

(1) 調査日

「日々アンケート」は全開館日、「県博デーアンケート」は毎月第3日曜日

(2) 調査事項

ア 回答者に関する事項

性別・年齢・同伴者・住所

イ 来館に関する事項

来館回数・来館方法・来館目的・催事情報の入手先

ウ 展示に関する事項

全体の印象・展示別の印象・所見

(3) 調査対象者

個人、家族及びグループの入館者

(4) 調査方法

調査用紙は館内複数箇所に設置し、退館時にアンケート回収ボックスに投函するよう案内している。

(5) 集計事項

ア 「回答者の同伴者」

回答者の大半は家族連れでの来館であり、県博デーでは8割強が家族連れである。単独や友人と連れ立っての来館は、共に1～2割である。

イ 「回答者の住所」

宇都宮市在住の来館者が約5割である。県外からの来館者は1～2割である。

ウ 「回答者の入館回数」

「日々アンケート」の回答者のうち、3割強は初めて来館された方である。「県博デーアンケート」の回答者のうち初めての来館は約2割である。県博デーでは、5回以上が約5割で、リピーターの存在が示唆される。

エ 「回答者の催し物情報の入手先」

回答者の情報入手経路は多岐に渡っているが、「友人仲間家族」のいわゆる口コミや「偶然」がやや目立つ。県博デーでの「偶然」が高いのは、中央公園利用者が博物館コンサートなどのイベントに惹かれ来館した可能性がある。

オ 「回答者の全体に対する印象」

「日々アンケート」回答者の約9割、「県博デーアンケート」回答者の約9割が「すごくよかった」、「よかった」と回答している。「よかったもの」への回答から、スロープ展示など常設展示に対し約4割～5割が「よかった」と感じている。企画展やテーマ展については、「日々アンケート」に比べ「県博デーアンケート」の評価が低い。県博デーでは複数のイベントが開催されているため、評価が分かれている可能性がある。

		就学前	小学生	中学生	高校生以上の学生	学生以外(～40歳)	41-60歳	61歳以上	未記入	計	
性別	男	47	245	16	11	52	52	62	10	495	39.7%
	女	57	385	30	30	73	51	45	5	676	54.2%
	未記入	2	44	1	2	3	1	10	19	76	6.1%
同伴者	家族	97	312	24	16	76	61	56	8	650	54.4%
	友人	5	158	12	13	16	4	2	2	212	17.8%
	団体	0	170	5	3	7	3	6	1	195	16.3%
	ひとり	0	7	2	10	29	34	49	6	137	11.5%
住所	宇都宮市内	65	372	21	26	65	48	54	6	657	56.0%
	宇都宮市外	27	197	15	8	33	25	36	4	345	29.4%
	県外	10	70	7	9	26	27	21	2	172	14.7%
来館回数	初めて	26	222	17	11	35	29	23	3	366	35.7%
	2～4回目	21	173	13	12	35	23	25	7	309	30.2%
	5回目以上	22	181	12	14	41	35	44	0	349	34.1%
情報入手経路	新聞・雑誌広報	5	23	2	4	3	12	30	1	80	7.3%
	テレビ・ラジオ広報	0	15	0	0	0	0	3	1	19	1.7%
	チラシ・ポスター	6	47	3	5	11	14	19	1	106	9.7%
	友人仲間家族	13	157	14	11	26	9	18	2	250	22.8%
	博物館HP	10	39	3	5	18	8	6	0	89	8.1%
	他HP、ブログ	3	29	2	1	7	7	1	0	50	4.6%
	偶然	27	139	10	7	31	29	15	2	260	23.7%
	その他	6	176	9	6	16	13	13	3	242	22.1%
全体の印象	すごくよかった	38	364	21	19	43	34	44	7	570	61.7%
	よかった	12	112	10	14	41	33	34	2	258	27.9%
	普通	8	37	4	2	7	10	5	2	75	8.1%
	悪かった	4	5	0	1	4	2	5	0	21	2.3%
よかったもの	スロープ	33	410	24	23	66	35	48	5	644	51.6%
	展示室1	31	358	21	23	47	27	23	5	535	42.9%
	展示室2	29	370	22	21	52	31	30	6	561	45.0%
	人文系企画展	0	59	10	13	20	31	41	2	176	50.6%
	人文系テーマ展	8	194	6	9	21	12	9	2	261	36.0%
	自然系企画展	14	114	9	11	16	8	6	2	180	53.1%
	自然系テーマ展	9	201	15	14	37	21	28	2	327	41.8%
	イッピン展	12	233	11	15	29	12	11	2	325	28.9%

※ 「よかったもの」の人文系企画展以下の割合は、開催期間中のアンケート回答数に基づく。

		就学前	小学生	中学生	高校生以上 の学生	学生以外 (～40歳)	41-60歳	61歳以上	未記入	計	
性別	男	20	30	3	0	27	34	18	0	132	36.7%
	女	34	72	8	2	43	41	16	3	219	60.8%
	性別未記入	0	1	0	1	0	0	1	6	9	2.5%
同伴者	家族	54	96	8	2	59	59	21	3	302	85.3%
	友人	1	8	2	0	6	2	2	0	21	5.9%
	団体	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.3%
	ひとり	0	0	0	1	4	13	12	0	30	8.5%
住所	宇都宮市内	19	50	3	2	22	35	22	0	153	45.4%
	宇都宮市外	19	38	2	1	29	25	9	2	125	37.1%
	県外	9	11	6	0	14	16	3	0	59	17.5%
来館回数	初めて	3	21	3	0	29	25	8	0	89	36.9%
	2～4回目	3	19	2	1	14	24	5	1	69	28.6%
	5回目以上	3	20	2	1	17	23	16	1	83	34.4%
情報入手経路	新聞・雑誌広報	0	8	0	0	3	9	8	0	28	11.0%
	テレビ・ラジオ広報	0	1	0	0	0	2	1	0	4	1.6%
	チラシ・ポスター	0	7	1	0	8	10	4	1	31	12.2%
	友人仲間家族	1	25	2	1	7	11	5	0	52	20.4%
	博物館HP	0	3	1	0	14	8	1	0	27	10.6%
	他HP、ブログ	1	1	0	0	1	1	1	0	5	2.0%
	偶然	6	17	2	1	29	21	8	1	85	33.3%
	その他	0	5	1	0	1	14	2	0	23	9.0%
全体の印象	すごくよかった	6	40	4	1	24	16	7	0	98	45.6%
	よかった	2	15	2	0	22	34	19	2	96	44.7%
	普通	0	4	1	0	6	9	0	0	20	9.3%
	悪かった	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5%
よかったものの	スロープ	5	33	4	1	34	46	18	2	143	39.7%
	展示室1	3	33	2	1	33	34	7	2	115	31.9%
	展示室2	4	30	2	1	28	30	8	1	104	28.9%
	博物館コンサート	1	15	2	1	6	13	11	1	50	13.9%
	とっておき講座	2	14	3	1	5	9	3	1	38	10.6%
	クイズにチャレンジ	4	42	6	1	22	24	4	0	103	28.6%
	キッズツアー	1	17	3	0	5	6	0	1	33	9.2%
	和歌塗り絵	0	5	0	1	0	2	0	0	8	2.2%
	電子顕微鏡	0	1	0	1	0	6	0	0	8	2.2%
	水質調査	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0.6%
	人文系企画展	1	3	0	0	4	10	11	0	29	24.2%
	人文系テーマ展	1	9	1	1	11	5	3	1	78	19.4%
	自然系企画展	4	12	3	0	15	14	4	2	54	43.5%
	自然系テーマ展	2	17	0	1	11	16	5	0	52	26.3%
	季節変わり展示	0	4	0	0	6	5	0	1	16	9.6%

※ 「よかったもの」の人文系企画展以下の割合は、開催期間中のアンケート回答数に基づく。

Ⅲ 予 算

1 平成28年度歳入状況

(単位：円)

科 目	調 定 額	収入済額	備 考
7 分担金及び負担金	156,760	156,760	
1 負担金	156,760	156,760	
2 民生費負担金	156,760	156,760	
社会保険料負担金	156,760	156,760	非常勤職員及び臨時補助員等の雇用保険料等
8 使用料及び手数料	6,719,421	6,719,421	
1 使用料	6,719,421	6,719,421	
2 民生使用料	6,719,421	6,719,421	
家屋使用料	476,771	476,771	レストラン
博物館使用料	6,242,650	6,242,650	観覧料
10 財産収入	1,339,832	1,339,832	
1 財産運用収入	1,339,832	1,339,832	
1 財産貸付収入	1,339,832	1,339,832	
家屋貸付料	1,339,832	1,339,832	飲料自動販売機 太陽光発電屋根貸し使用料
14 諸収入	1,251,047	1,251,047	
7 雑入	1,251,047	1,251,047	
1 弁償金	385,480	385,480	
食費光熱水費等弁償金	385,480	385,480	レストラン等の電気・ガス・水道
4 雑入	865,567	865,567	
雑入	865,567	865,567	レストラン等の火災保険料相当、S-net 情報提供料
計	9,467,060	9,467,060	

2 平成28年度歳出予算

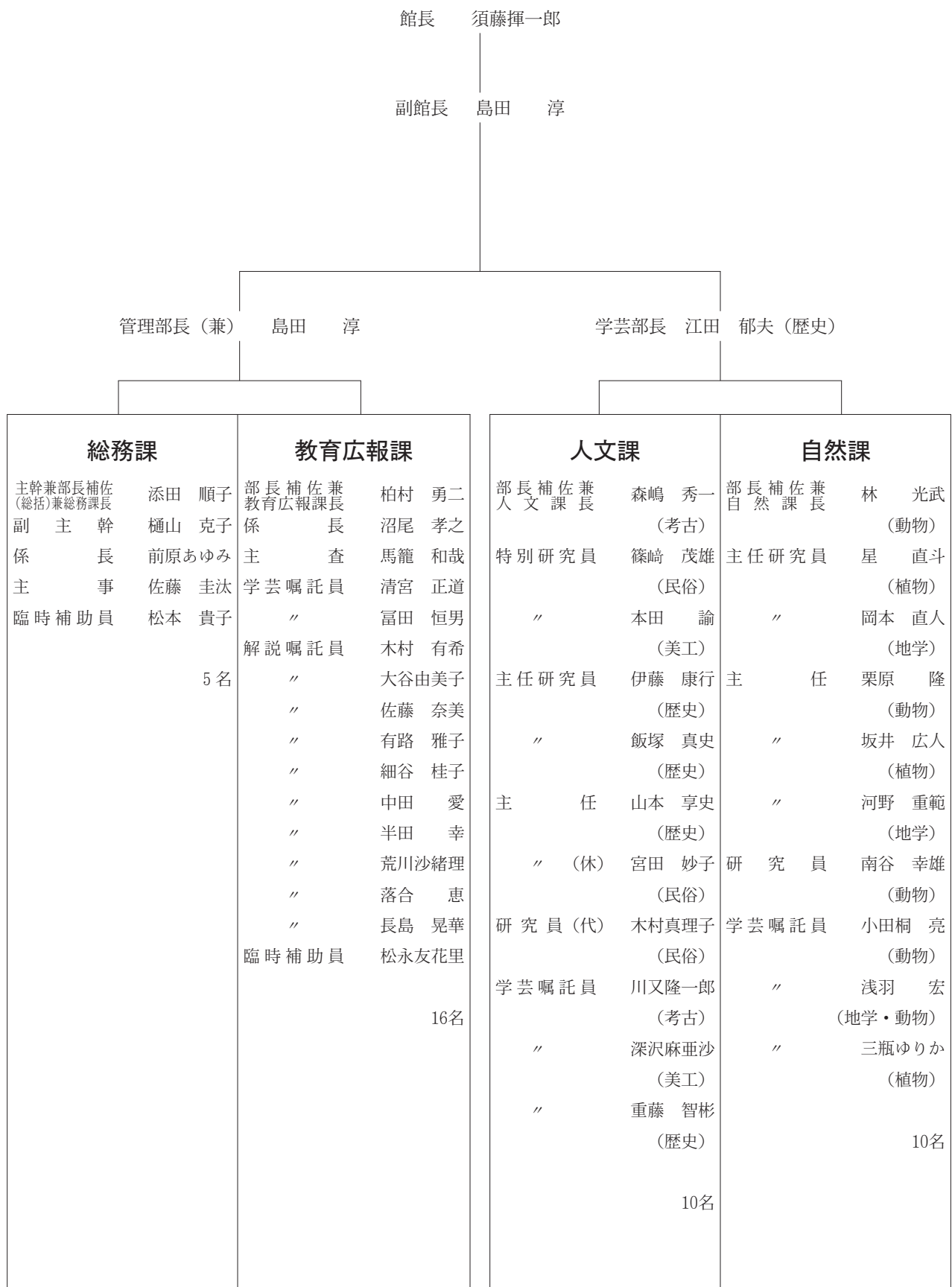
博物館費

(単位：千円)

事業名			予算額	摘要
博物館運営費	1. 管理運営費	(1)非常勤職員人件費	45,458	非常勤職員、各種委員会、臨時補助員に要する経費
		(2)施設管理費	35,997	電気、ガス、上下水道、ボイラー用重油、設備改修、管理用消耗品等
		(3)管理委託費	39,169	警備、清掃、設備保守委託等
		小計	120,624	
	2. 企画事業費	(1)普及教育経費	2,550	普及教育活動に要する講師謝礼、普及教育活動資材購入費等
		(2)調査研究費	3,404	調査研究活動に要する経費
		(3)企画展等開催費	11,598	企画展示の資料展示に伴う委託料、運搬費、保険料、負担金等の経費
		(4)移動博物館費	807	移動博物館の資料に伴う運搬費等の経費
		(5)資料・図書購入費	4,080	博物館資料、備品の購入費
		(6)常設展示資料借入経費	324	常設展示の資料に伴う謝金、運搬費、保険料等の経費
		(7)教材作成経費	471	資料、標本等の作製、修繕及び写真撮影等の経費
		(8)3館連携企画	518	3館連携企画の実施に要する経費
		(9)収蔵資料活用促進事業	1,713	収蔵資料を活用した企画の実施に要する経費
		小計	25,465	
	3. 特別企画展示費	調査事業費	2,301	35周年特別企画展開催に伴う調査事業費
		小計	2,301	
	4. 博物館整備費	施設修繕費	26,025	空調機更新工事
		小計	26,025	
	計		174,415	

IV 組織・事務分掌

1 平成28年度栃木県立博物館の組織図



2 栃木県立博物館協議会委員名簿（任期：平成28年12月 7 日～平成30年12月 6 日）

区分	氏 名	性別	職 業 ・ 役 職	備考	区分	氏 名	性別	職 業 ・ 役 職	備考
学 識 経 験 者	飯野 達央	男	元栃木県参事兼自然環境課長		社会 関係 教育	渡邊小百合	女	栃木県公民館連絡協議会理事 大田原市生涯学習課長兼中央公民館長	
	荻原恵美子	女	株式会社下野新聞社 編集局くらし文化部部長代理		家庭 教育 関係 者	揚石 哲司	男	栃木県PTA連合会副会長	
	鈴木 健一	男	宇都宮共和大学客員教授			上野 幸弘	男	栃木県子ども会連合会 副会長	
	大畑 英雄	男	下野手仕事会 大畑武者絵資料館長		学校 教育 関係 者	上野 憲示	男	栃木県私立中学高等学校連合会 学校法人宇都宮学園理事長	
	小菅 一弥	男	栃木県町村会・壬生町長			中村 千浩	女	栃木県高等学校長会 栃木県立真岡女子高等学校長	
	佐藤 峰子	女	ボランティア連絡協議会			樽井 圭子	女	栃木県小学校長会 宇都宮市立豊郷北小学校長	
	塩田ひとし	男	栃木県議会議員			山本 伸夫	男	栃木県中学校長会 宇都宮市立上河内中学校長	
	広瀬 寿雄	男	栃木県市長会・下野市長		公 募	藤本由利子	女		
	松本 春枝	女	N H K宇都宮放送局長						

3 栃木県立博物館調査研究協力員名簿

（1）人文部門

①縄文時代の土器に関する調査研究（考古）

No.	氏 名	所 属	役職名
1	中村 信博	栃木県考古学会	会 員

②中世下野の社会に関する調査研究（歴史）

No.	氏 名	所 属	役職名
1	千田 孝明	観音寺	住 職

③近世下野に関する調査研究（歴史）

No.	氏 名	所 属	役職名
1	鷺谷 政信	青雲堂刀剣舗	代 表

④中近世の美術工芸資料に関する調査研究（美術工芸）

No.	氏 名	所 属	役職名
1	北口 英雄	小杉放菴記念日光美術館	顧問
2	萩原 哉	武蔵野美術大学	非常勤講師
3	大澤 慶子	文星芸術大学	准 教 授
4	寺門 泰三	泰清堂	代 表
5	高橋 久敬	日本古鐘研究会	会 員
6	浦野 潔	羅漢工房	代 表

⑤那珂川の漁撈用具に関する調査研究（民俗）

No.	氏 名	所 属	役職名
1	柏村 祐司	栃木県立博物館	名誉学芸員

⑥栃木の山・鉾に関する調査研究（民俗）

No.	氏 名	所 属	役職名
1	池田 貞夫	宇都宮伝統文化連絡協議会	会 長

(2) 自然部門

①日光の自然総合学術調査

No.	氏 名	所 属	役職名
1	神山 隆之	今市の自然を知る会	会 員
2	長谷川順一	栃木県植物研究会	会 員
3	田代 俊夫	栃木県植物同好会	幹 事
4	野口 達也	日本植物分類学会	会 員
5	江連 俊一	栃木県きのこ同好会	会 員
6	小林 幹夫	宇都宮大学	名 誉 教 授
7	稲泉 三丸	宇都宮大学	名 誉 教 授
8	中村 和夫	宇都宮大学	名 誉 教 授
9	宮本 龍夫	とちぎ昆虫愛好会	会 員
10	佐藤 光一	とちぎ昆虫愛好会	会 員
11	大川 秀雄	とちぎ昆虫愛好会	幹 事
12	尾田 治徳	とちぎ昆虫愛好会	会 員
13	鈴木 一夫	とちぎ昆虫愛好会	会 員
14	落合 和泉	日本蛾類学会	会 員
15	森島 直哉	日本甲虫学会	会 員
16	大桃 定洋	とちぎ昆虫愛好会	会 員
17	柴田 邦夫	栃木県植物研究会	会 員
18	上條さち子	日本哺乳類学会	会 員

②県内脊椎動物の形態と変異に関する研究

No.	氏 名	所 属	役職名
1	上條さち子	日本哺乳類学会	会 員

③栃木の維管束植物相調査

No.	氏 名	所 属	役職名
1	田代 俊夫	栃木県植物同好会	幹 事
2	柴田 邦夫	栃木県植物研究会	会 員
3	大和田真澄	栃木県植物研究会	会 員
4	長谷川順一	栃木県植物研究会	会 員
5	神山 隆之	今市の自然を知る会	会 員
6	野口 達也	日本植物分類学会	会 員
7	小林 幹夫	宇都宮大学	名 誉 教 授
8	中池 敏之	日本植物学会	会 員
9	上川加寿子	RDB維管束植物調査会	会 員
10	小林 節子	RDB維管束植物調査会	会 員
11	小倉 洋志	日本植物分類学会	会 員

④栃木県の化石調査

No.	氏 名	所 属	役職名
1	松居誠一郎	宇都宮大学教育学部	教 授

⑤栃木県の昆虫相調査

No.	氏 名	所 属	役職名
1	田中 清貴	とちぎ昆虫愛好会	幹 事
2	小林 教太	とちぎ昆虫愛好会	会 員
3	片山 栄助	とちぎ昆虫愛好会	会 員
4	中山 恒友	とちぎ昆虫愛好会	幹 事
5	阿久津 隆	とちぎ昆虫愛好会	会 員
6	香川 清彦	とちぎ昆虫愛好会	幹 事
7	高橋 滋	とちぎ昆虫愛好会	会 員
8	園部 力雄	とちぎ昆虫愛好会	幹 事
9	多和田潤治	とちぎ昆虫愛好会	幹 事
10	村上 哲治	とちぎ昆虫愛好会	幹 事
11	高野名保子	とちぎ昆虫愛好会	会 員
12	中村 剛之	弘前大学	准 教 授
13	大島 康宏	三重県立博物館	学 芸 員
14	森田 誠司	日本甲虫学会	会 員
15	新見 清夫	とちぎ昆虫愛好会	幹 事

⑥栃木県産菌類調査

No.	氏 名	所 属	役職名
1	野澤 純一	日本菌学会	会 員

⑦栃木県内に分布する新第三系の研究

No.	氏 名	所 属	役職名
1	興野 喜宣	鉱物同志会	会 員
2	青島 睦治	栃木地学愛好会	会 員

⑧栃木県産両生爬虫類調査

No.	氏 名	所 属	役職名
1	木村 有紀	日本爬虫両棲類学会	会 員

⑨栃木県の土壌動物相調査

No.	氏 名	所 属	役職名
1	黒住 耐二	千葉県立中央博物館	主任上席研究員
2	古野 勝久	日本土壌動物学会	会 員

4 栃木県立博物館ボランティア

(1) 人文部門活動内容

- ①テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」体験コーナーの補助
- ②人文系の展示・講演会・講座などのサポート
- ③民具の整理

(2) 自然部門活動内容

- ①両生類・爬虫類の分布・生態調査
- ②陸生貝類・甲殻類の分布調査
- ③化石クリーニング

(3) 教育広報部門活動内容

- ①情報収集（新聞記事等の切り抜き整理）
- ②学校移動博物館展示及び撤去作業
- ③「県立博物館の日イベント（県博デー）」クイズにチャレンジの補助
- ④体験学習・体験活動の補助
- ⑤発送業務補助

V 利用案内

☆交通案内

J R宇都宮駅から

○関東バス市内線

37 桜通り経由鶴田駅行または同經由西川田駅行で「中央公園博物館前」下車、徒歩8分。

○関東バス郡部線

43 長坂経由鹿沼営業所行で「文星芸術大学附属中高」下車、徒歩10分。

東武宇都宮駅から

○市内大通りの関東バス「東武駅前」バス停で上記バスに乗車。

○徒歩30分

鹿沼方面から

○関東バス鹿沼営業所発宇都宮駅行で「文星芸術大学附属中高」下車、徒歩10分。

日光、鬼怒川方面から

○関東バス宇都宮駅行で「桜通り十文字」下車、徒歩18分で公園正面へ。

☆開館時間 午前9時30分から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

☆休館日 月曜日(祝日・休日を除く)、
祝日・振替休日の翌日(土曜日・日曜日を除く)、定期消毒(6月下旬～7月上旬)、
年末年始(12月28日～1月4日)、
臨時休館日

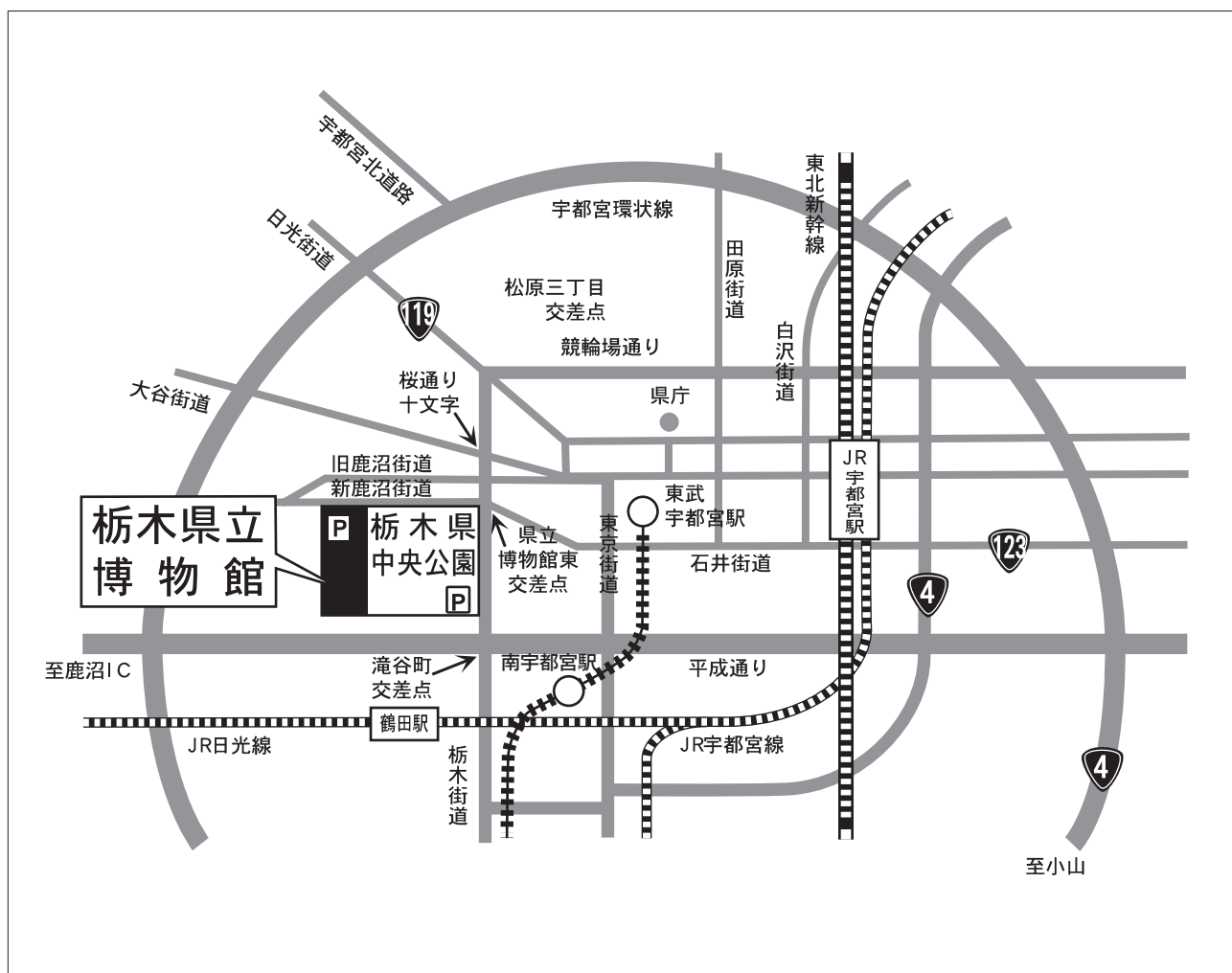
☆観覧料金 一般250円(200円)、大学生・高校生120円(100円)、中学生以下無料。
()内は20名以上の団体料金。

M割(ミュージアム割引)について

※入館から6ヶ月以内の当館もしくはM割参加館の半券をもって来館すると、
団体割引料金で入館できます。

(半券1枚につき1回限り有効)

6月15日(県民の日)、11月3日(文化の日)は無料。



☆観覧料免除について

次の場合、観覧料が免除されます。

- (1) 小学校、中学校、高等学校、大学等において、その学校の教育課程に基づく教育活動として観覧する場合
- (2) 県の主催する「県の施設を見る県民バス」等による観覧
- (3) 社会福祉施設がその施設の入所者に対して行う行事としての観覧
- (4) 国及び地方公共団体等が行う職員研修の一環として観覧する場合又は公民館等社会教育施設が行う教育活動の一環として観覧する場合

☆観覧料の免除申請について

上記の観覧料免除に該当する場合は、博物館所定の観覧料等免除申請書（ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入して、観覧日の2週間前までに到着するように送付してください。

☆観覧について

- 1 館内の観覧所要時間としては、展示の全てを通覧する場合は約1.5時間～2時間を見込んでください。
- 2 観覧の順路は、一般通覧の場合、スロープ展示→展示室1 地質時代の栃木、太古の暮らし、古墳文化と下野国、中世の下野、江戸時代の下野、近代日本と栃木県、現代栃木の軌跡→展示室2 テーマ展示（開催中の場合）雑木林の生きもの、水辺の生きもの、岩石、鉱物、化石、菌類、植物、動物、企画展示（開催中の場合）となりますが、必要に応じて重点的に観覧していただいても結構です。
また、混雑の状況によっては適宜観覧順序を変えてください。
- 3 展示室等に制服の解説嘱託員がおり、解説や質問に応じますのでご利用ください。また、気分がわるくなったり困ったことがありましたらお申し出ください。

☆施設、設備について

- 1 受付案内：1階エントランスホールにあります。
- 2 トイレ：1階に2ヶ所（講堂への通路、スロープ展示の下、障害者用トイレあり）
2階に2ヶ所（展示室2入口右側奥、レストラン）にあります。
- 3 手荷物ロッカー：正面から講堂に至る通路にあります。（返金式）
- 4 車椅子・ベビーカー・杖：エントランスホールにあります。
- 5 ベビーベッド（おむつ替え用）が各階に、授乳室（保健室）は1階にあります。
- 6 記念スタンプ：1階トイレ前（スロープ展示の下）

- 7 ミュージアムショップ：1階エントランスホールにあります。
- 8 レストラン：2階、講堂の真上部分にあり、すばらしい眺望です。
- 9 自動販売機：玄関ポーチと2階レストラン入口に飲み物の販売機があります。

☆お願い

- 1 館内では、他の観覧者の妨げにならぬよう配慮をお願いします。
- 2 写真撮影が禁止されている場所がありますのでご注意ください。
本格的な模写・写真撮影・団体の記念撮影などは、事前に許可を得てください。
- 3 飲食は指定された場所をお願いします。
- 4 団体観覧の場合は、引率者の責任において他の迷惑にならぬようご指導ください。
- 5 大型バス等で来館される際には、前もってご連絡ください。
- 6 動物（ペットなど）の持ち込みはご遠慮ください。
- 7 そのほか、博物館職員や警備員の指示に従ってください。
- 8 館内は禁煙です。

栃木県立博物館年報(第35号)

平成29年 7 月31日 発行

編集・発行 栃木県立博物館
〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町 2 - 2
T E L 028 (634) 1311(代)

印 刷 下野印刷株式会社

ISBN 978-4-88758-093-0